2018 6月　梅雨の晴れ間　久しぶりに 東六甲を歩く

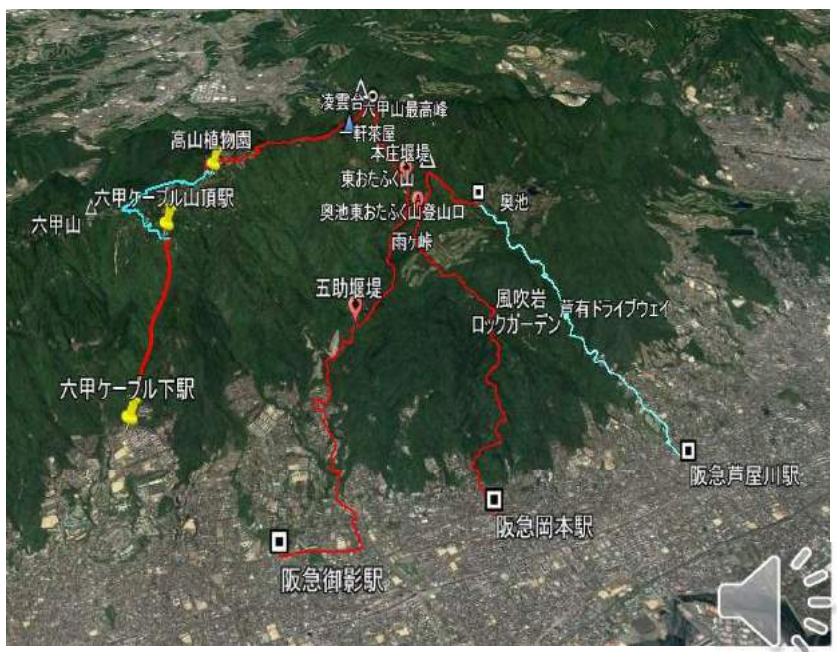


1. **六甲高山植物園より六甲最高峰を経て久しぶりに住吉谷を下る　　2018.6.14.**

2. **岡本　保久良神社から尾根筋を風吹岩・雨ケ峠を経て東おたふく山へ　2018.6.22.**

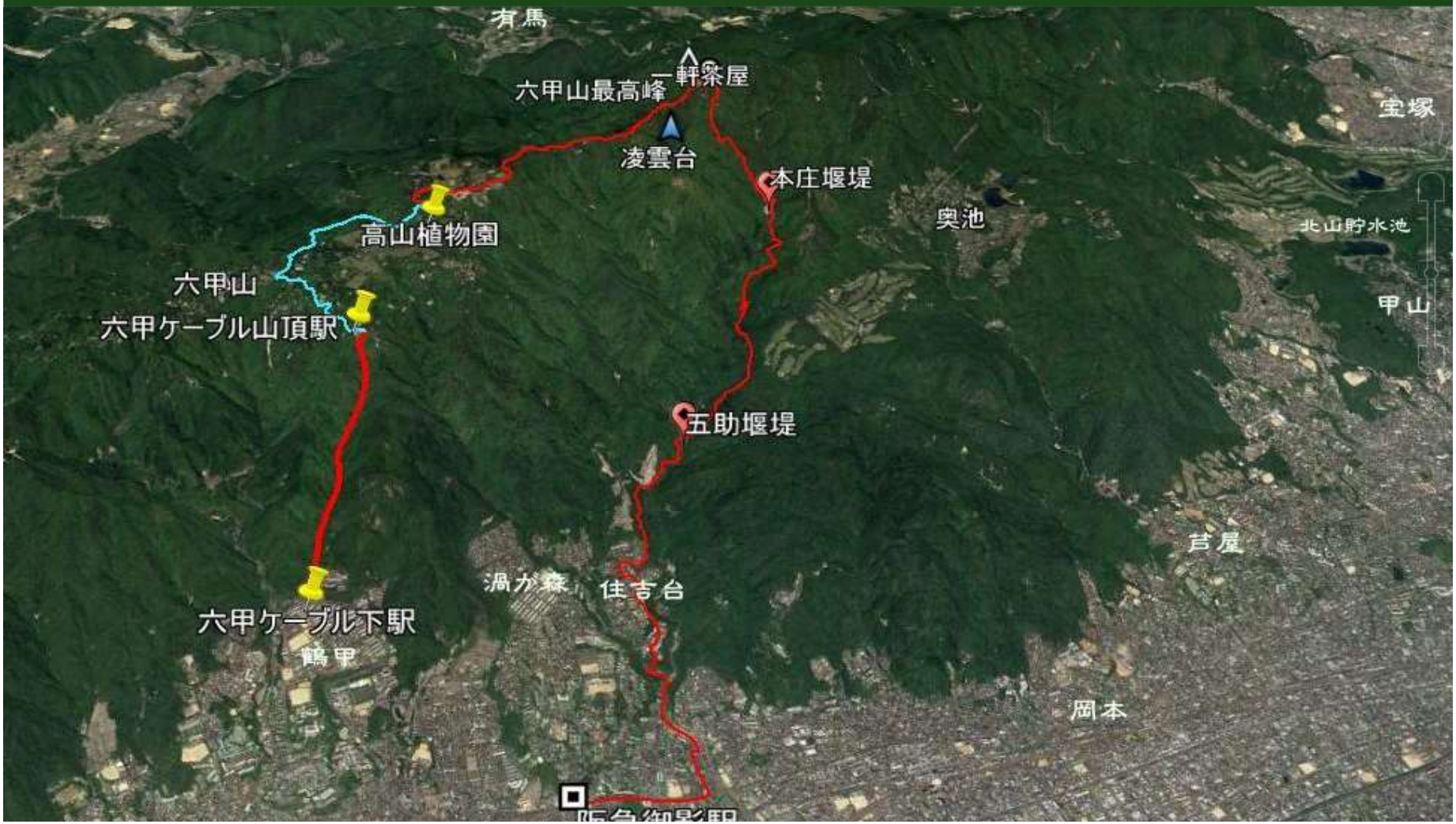
梅雨の晴れ間　久しぶりに六甲山上 Walk
東六甲の六甲高山植物園・六甲山最高峰へ
長いこと歩いていない東六甲の住吉谷を下りました。
また　別途　以前から気になっていた六甲越の古道・
東おたふく山への道を辿りました。

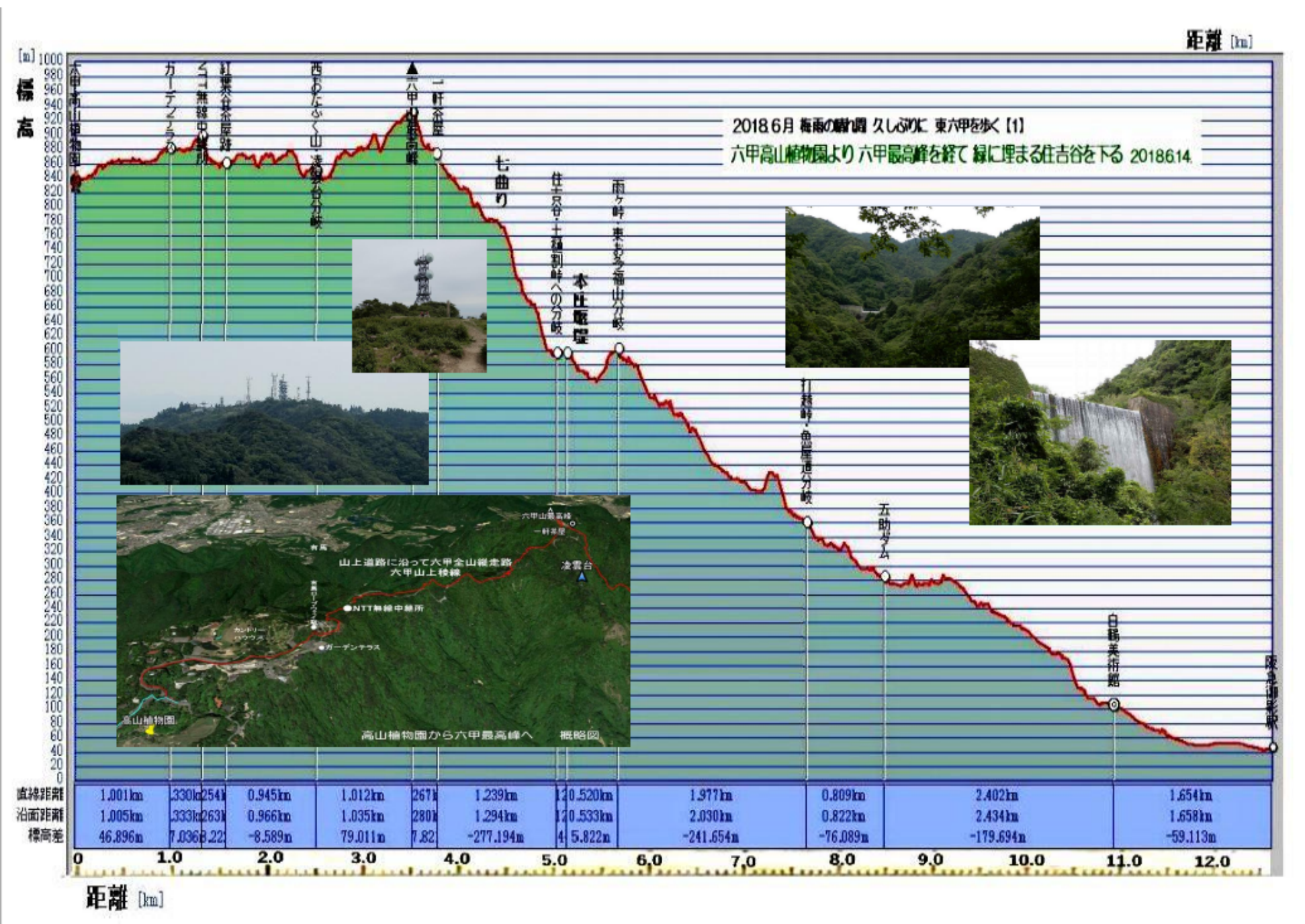
もう何十年も歩いていない住吉谷・おたふく山
雨上がりで美しい新緑の中を種々初夏の野草にも出会え、うれしいwalkでした。



六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く　六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る




2018.6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く【1】
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 緑に埋まる住吉谷を下る 2018.6.14
距離 [km]
標高 [m]
六甲高山植物園
ガーデンテラス
NTT無線中継所
紅葉谷谷屋跡
西ぐちたぶく山 逆瀬谷分岐
六甲山最高峰
一軒茶屋
七曲り
住吉谷・土樽別峠への分岐
本住吉駐屋
雨ヶ峠・東おた多福山分岐
打越峠・魚屋道分岐
五助ダム
白鶴美術館
阪急御影駅
山上道路に沿って六甲全山縦走路
六甲山上線線
凌雲台
高山植物園から六甲最高峰へ 概略図
直線距離
沿面距離
標高差
1.001km 1.330km 0.945km 1.012km 1.239km 0.520km 1.977km 0.809km 2.402km 1.654km
1.005km 1.333km 0.966km 1.035km 1.294km 0.533km 2.030km 0.822km 2.434km 1.658km
46.896m 7.036m -8.589m 79.011m -277.194m 5.822m -241.654m -76.089m -179.694m -59.113m
0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0 7.0 8.0 9.0 10.0 11.0 12.0
距離 [km]


私の一番好きな六甲　武庫川から眺める東六甲の姿
小さな時から、私の慣れ親しんだ景色でもある
R171号線　武庫川 甲武橋から眺める六甲連山　google earthより

尼崎と西宮の境を流れる武庫川
この土手から眺める東六甲の姿は私にとっては小さい頃から朝夕慣れ親しんだ景色。
東端にこんもりと甲山がみえ、その後ろに東六甲の山々が連なる六甲が一番美しい景色。
電車に乗ると　毎度探す景色でもある。
須磨に移り住んで、西六甲に登る機会は増えましたが、東六甲に行く機会もなく、イメージだけが頭に残っている。
晴れ渡った梅雨の合間　西六甲鉄拐山iから東に延びる六甲連山とその一番後ろ遠くに隠れて、山裾だけが見える東六甲の山々を遠望する。
「本当に長いこと東六甲の六甲最高峰•住吉谷
それに山裾だけが見えているおた福山•甲山にも登っていないなぁ。
今どないなっているのだろうか……」と好奇の虫が騒ぐ。

かつて　よくハイキングに出かけた場所ではあるが、住宅地として大きく変貌した阪神間六甲の山腹。色々話は聞くが….と興味深々。
この梅雨の晴れ間　電車に使えば1時間もかからず麓に行けるので、毎日の健康walkに東六甲へも足を延ばそう。
一番行きたいのは住吉川の谷筋とおたふく山
そして最後は甲山と。
思い立ってすぐ東六甲へ


R171号線　武庫川 甲武橋から眺める六甲連山　google earthより



六甲連山の西端　須磨 鉄拐山から眺める六甲連山
東六甲の山々の向こうに見える東六甲　今はどうなっているのだろうか?



西六甲　高取山から眺める六甲連山の山並み



西六甲の端　鉄拐山から眺める六甲連山の山並み



須磨海岸から宝塚に至る全55～56キロに約50の山が連なる六甲連山。最高峰は六甲山（931.25m）
須磨からは山並みが重なり、六甲山頂など東六甲の山々はよく見えない。
でも、子供の時から尼崎に住んでいた私にとって、朝夕眺める東六甲の山並みはポピュラーな山並み。
六甲山上の峰に見える鉄塔群・ユニークな姿の甲山／おたふく山・表六甲のいくつかの谷筋。
通った学校の校歌にも読みこまれ、須磨に移ってからも、電車に乗ると車窓から山並みを探す。
最近　健康walkで　須磨の縦走路に登ると　やっぱり　東六甲の山並みや阪神間の街の景色を探す。
本当によくなれ親しんだ山々である。

梅雨の晴れ間　西六甲　鉄拐山で六甲の山並みを眺めていて、「六甲山上の高山植物園やカンツリーハウスでは栽培ながらニッコウキスゲが咲いている」とのニュースがふと頭をよぎる。
ぼんやりとしか見えない東六甲の端　東おたふく山のあたり。昔よく歩いた表六甲　ずいぶんのご無沙汰。
「ちょうど初夏の六甲高山植物園walkの時期。　高山植物園から最高峰から住吉川沿いの谷を降りよう。
また、もう数十年も歩かぬ表六甲から有馬への六甲越の古道
ぜひ風吹岩や東おたふく山にも行ってみたいなぁ」と。

歳を考えるとアプローチの長い急な住吉川を登るのはちょっとしんどい。
東六甲の道も随分変わっているだろう。まずは様子見。
六甲山上へケーブルで山上に登って、山上を歩いて高山植物園・最高峰から住吉川を降りることに。
梅雨の晴れ間　6月19日朝　期待を膨らませつつ、六甲ケーブルで六甲山上へ


西宮浜から眺める六甲連山　全景　internetより　　自分のphotoに置換え予定
六甲山上
凌雲台
六甲山最高峰
東おたふく山
有馬
奥池
風吹岩
六甲ケーブル下駅
甲山
宝塚
芦屋
西宮
武庫川
甲子園球場
鳴尾浜球場
阪神電車武庫川駅



西六甲　高取山から眺める六甲連山の山並み

摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なって、東六甲の山並みがよく見えない



西六甲　高取山から眺める六甲連山の山並み遠望
摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なり、
六甲の山腹の高所まで広がる住吉地区の市街地、鷹甲、渦が森の団地がかすんで見える。







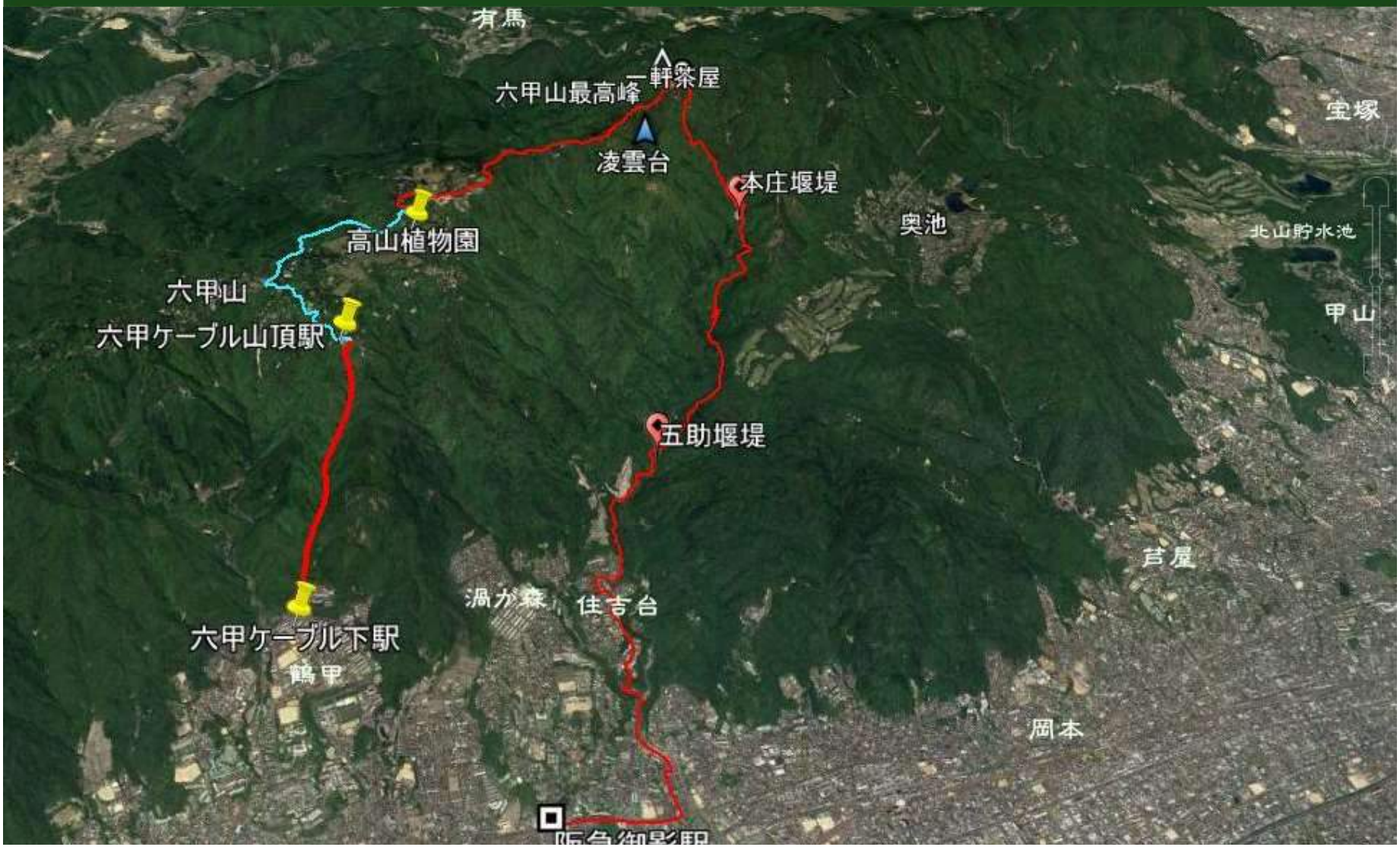
梅雨の晴れ間　初夏
ニッコウキスゲの花咲く高山植物園
2018.6.14.

まるごと六甲山を楽しもう

Rokkosan.com

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

1.　ニッコウキスゲの咲く　六甲高山植物園





2018.6.14.朝　六甲ケーブルで山上に上がって山上walk
六甲最高峰から住吉谷を下ることに。　久しぶりの東六甲　楽しみです



2018.6.14.朝　六甲ケーブルで山上に上がる



1.1.　ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園

六甲高山植物園2018　初夏6月の草花

梅雨の晴れ間　2018.6.14.

6月の上旬　青いケシやクリンソウなどに合わせ、毎年六甲高山植物園に咲く高山植物を見に出かけるのですが、今年は出遅れ。　ただでさえ温暖化が進む中　ニッコウキスゲが今満開と聞きましたが、いつも楽しみにしている駒草・エーデルワイス・オオヤマレンゲなどはまだ咲いているだろうか？　あまり期待はせずに‥‥　お目当てはニッコウキスゲ　でも　コマクサやオオヤマレンゲには出会いたいと興味深々。
六甲高山植物園東門より入る。







まるごと六甲山を楽しもう

Rokkosan.com


六甲高山植物園
ALPINE BOTANICAL GARDEN MAP
園内マップ
P
東入口
植林区
ヒマラヤ区
湿生植物区
ロックガーデン
お手洗い
プリンスブリッジ
休憩所
ガラス室
現在地
西入口
ショップ アルピナ
休憩室
お手洗い



イベントカレンダー　ご参加お待ちしております！

■6/10(土)『沖先生のぶらぶら園内ガイド』
■6/25(日) フォトセミナー『早朝のあじさい撮影会』
→お電話にてご予約受付開始！
※詳細・はチラシ、HPをご覧ください



2018. 6. 14.　六甲高山植物園
東門を入り、坂を下って高山植物園の中央へ
ふと見るとオオヤマレンゲの木に花が一輪　また、高山植物が育てられている築山の周りにも、多くの人たちが見え、その下に見える湿地にニッコウキツゲの花が見え、黄色い花が見える。　まず　ニッコウキスゲを見に行こうと坂道を下ってゆく



2018. 6. 14.　六甲高山植物園　　ニッコウキスゲの咲く　中央岩山下の湿地
まだちょっと早かったようだが、久しぶりに見るニッコウキツゲ　うれしく思わず笑顔に
正面門の湿地にもニッコウキスゲが群生する湿地がりそっちがメイン。
群生するこの黄色い花の湿地を見ると尾瀬ヶ原へ行きたくなる。
また、土砂降りの雨の中でみた　東北八戸種差海岸のニッコウキツゲも印象的だった…



2018.6.14.　六甲高山植物園　　ニッコウキスゲの咲く　中央岩山下の湿地



2018.6.14　六甲高山植物園　　ニッコウキスゲ　　中央岩山下の湿地で



山岳に咲く高山植物がみられる中央部のロックガーデン（岩山）
この時期　この岩山では楽しみなコマクサやエーデルワイスなど数々の高山植物がみられるのですが、訪れたのが少し遅かったのか　もう盛りを過ぎていました。



山岳に咲く高山植物がみられる中央部のロックガーデン（岩山）



高山植物の女王　コマクサ　中央部のロックガーデン（岩山）で



高山植物の女王　コマクサ　中央部のロックガーデン(岩山)で



コマクサ　中央部のロックガーデン（岩山）で



エーデルワイス　中央部のロックガーデン（岩山）で



エーデルワイス　中央部のロックガーデン(岩山)で



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺にも数々の草花が咲いていました

2018.6.14



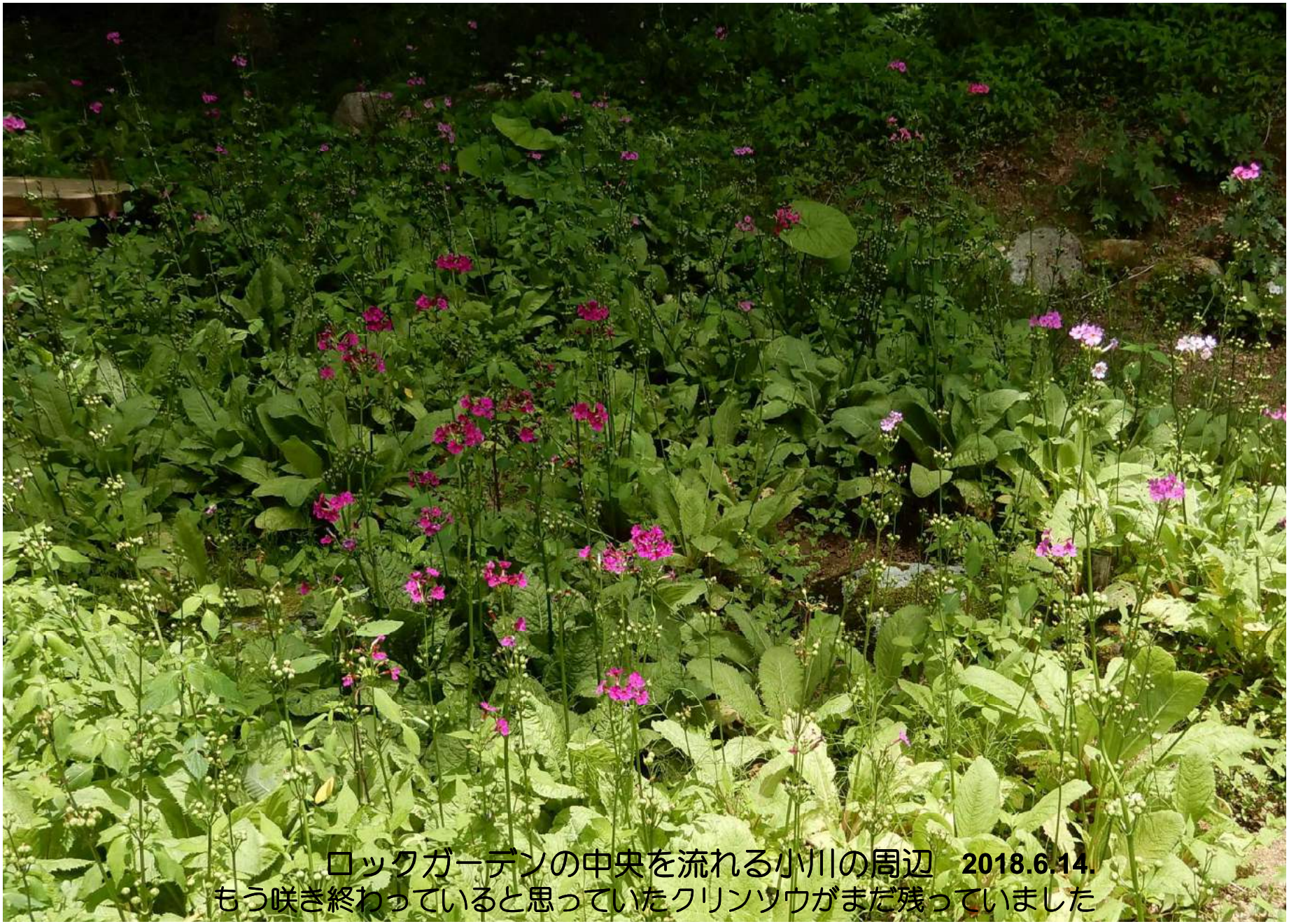
ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺　2018.6.14.



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺　2018.6.14.14:



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺　2018.6.14.14.



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺　**2018.6.14.**
もう咲き終わっていると思っていたクリンソウがまだ残っていました



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺　2018.6.14.



六甲高山植物園　南口の湿原で　2018.6.14.

もう水芭蕉の花は咲き終わっていましたが、黄色いニッコウキスゲが咲き始めていました



ニッコウキスゲ　　六甲高山植物園　南口の湿原で　2018.6.14



ニッコウキスゲ　　六甲高山植物園　南口の湿原で　2018.6.14.



ニッコウキスゲ　六甲高山植物園　南口の湿原で　2018.6.14.



南口近くの池や丘の周辺では　すがすがしい紫陽花の花　20108.6.14.



南口近くの池や丘の周辺では　すがすがしい紫陽花の花　20108.6.14.



池では　黄色いコウホネの花　20108.6.14.



「オオヤマレンゲ」の咲く南の丘へ　　2018.6.14.　六甲高山植物園で



新緑　「オオヤマレンゲ」の木の葉が素晴らしいトンネルの中に
オオヤマレンゲの花が見える

六甲高山植物園　オオヤマレンゲの咲く南の丘　　2018. 6. 14.



オオヤマレンゲ　六甲高山植物園　南の丘で　　2018.6.14.

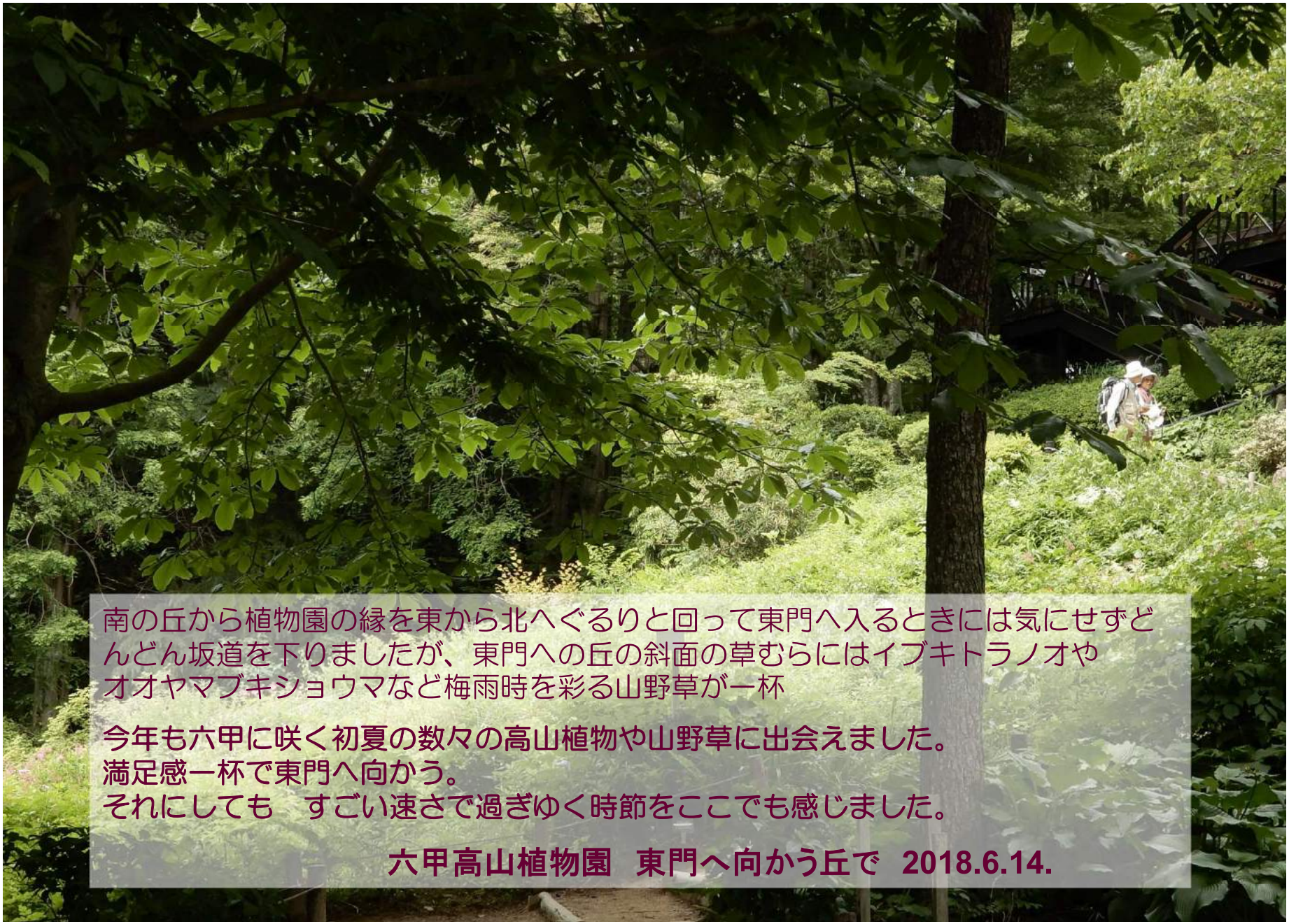


オオヤマレンゲ　六甲高山植物園　南の丘で　　2018.6.14.



ヤマブキショウマ　とイブキトラノオの草花に見送られて
東門へ向かう丘の斜面で　六甲高山植物園　東門への丘で　2018.6.14.


六甲高山植物園 東入口
夏
Rokkosan.com
初夏の花　2018
六甲高山植物園　で　20186.14.



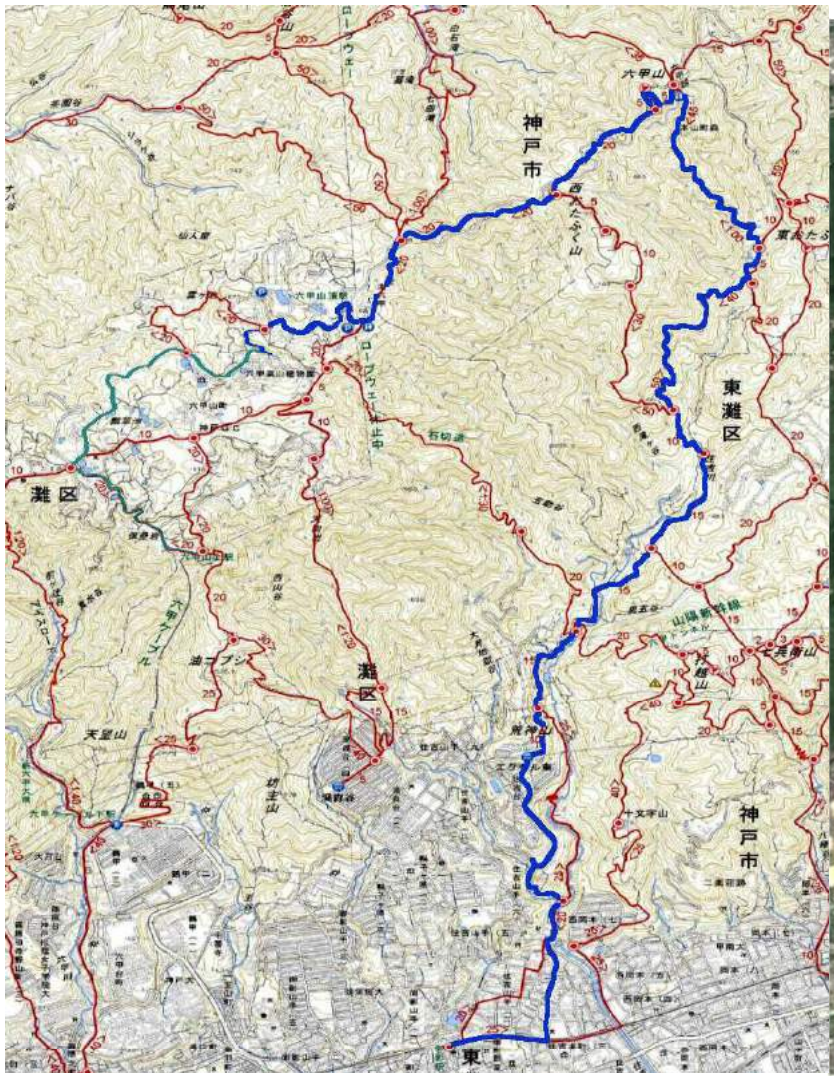
南の丘から植物園の縁を東から北へぐるりと回って東門へ入るときには気にせずどんどん坂道を下りましたが、東門への丘の斜面の草むらにはイブキトラノオやオオヤマブキショウマなど梅雨時を彩る山野草が一杯

今年も六甲に咲く初夏の数々の高山植物や山野草に出会えました。
満足感一杯で東門へ向かう。
それにしても　すごい速さで過ぎゆく時節をここでも感じました。

六甲高山植物園　東門へ向かう丘で　2018.6.14.

引き続き　高山植物園の北門を出て、か東へ六甲最高峰へ久しぶりの山上散歩
そして、久しぶりに新緑の住吉谷を下る

六甲山上　六甲全山縦走路を東へ　六甲山最高峰へ登って
二軒茶屋から六甲越の古道を南へ　住吉谷を下る







梅雨の晴れ間　初夏
ニッコウキスゲの花咲く高山植物園
2018.6.14.
<おしまい>



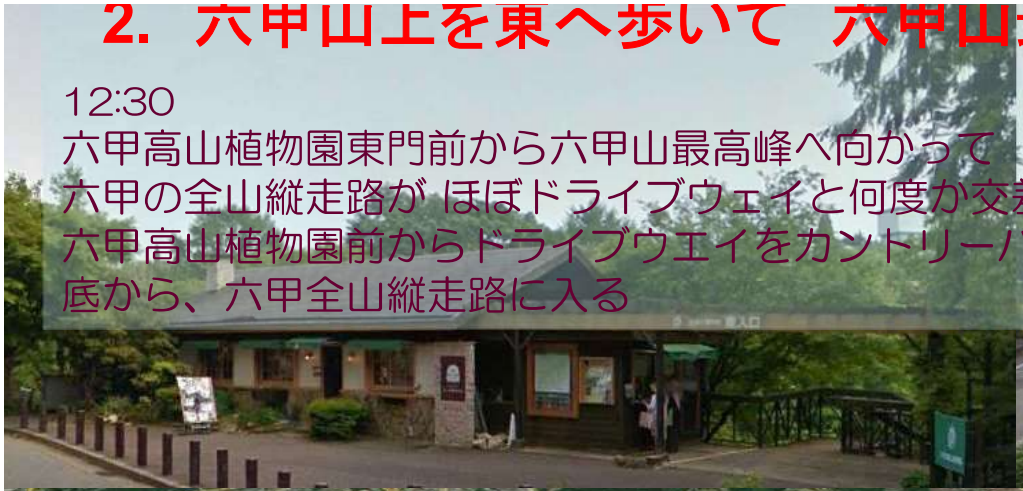
ニッ

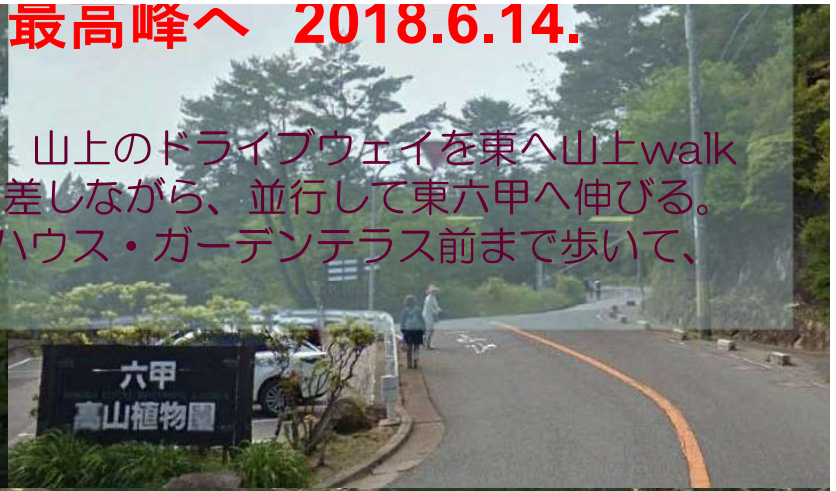


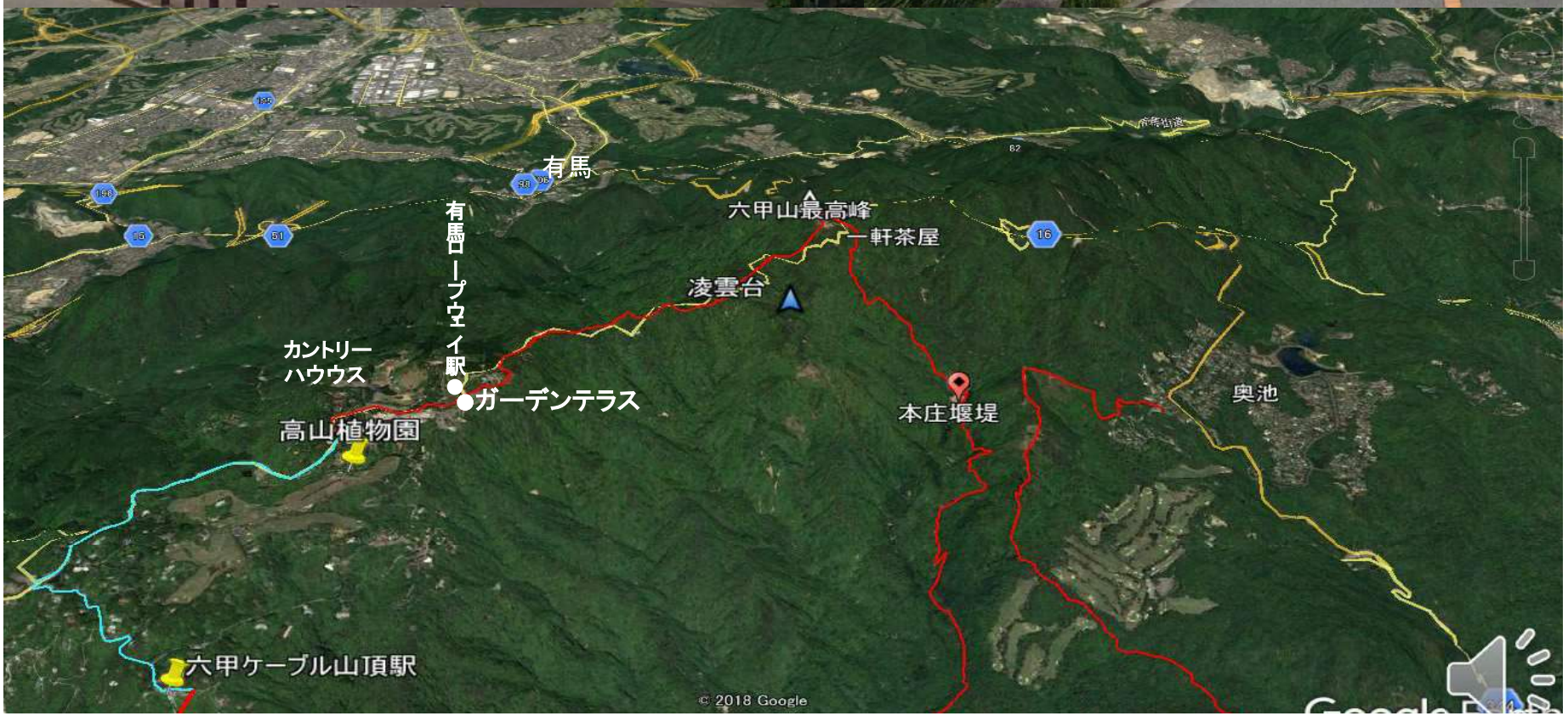
まるごと六甲山を楽しもう
Rokkosan.com

2. 六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ　2018.6.14.

12:30
六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって　山上のドライブウェイを東へ山上walk
六甲の全山縦走路が ほぼドライブウェイと何度か交差しながら、並行して東六甲へ伸びる。
六甲高山植物園前からドライブウエイをカントリーハウス・ガーデンテラス前まで歩いて、
底から、六甲全山縦走路に入る

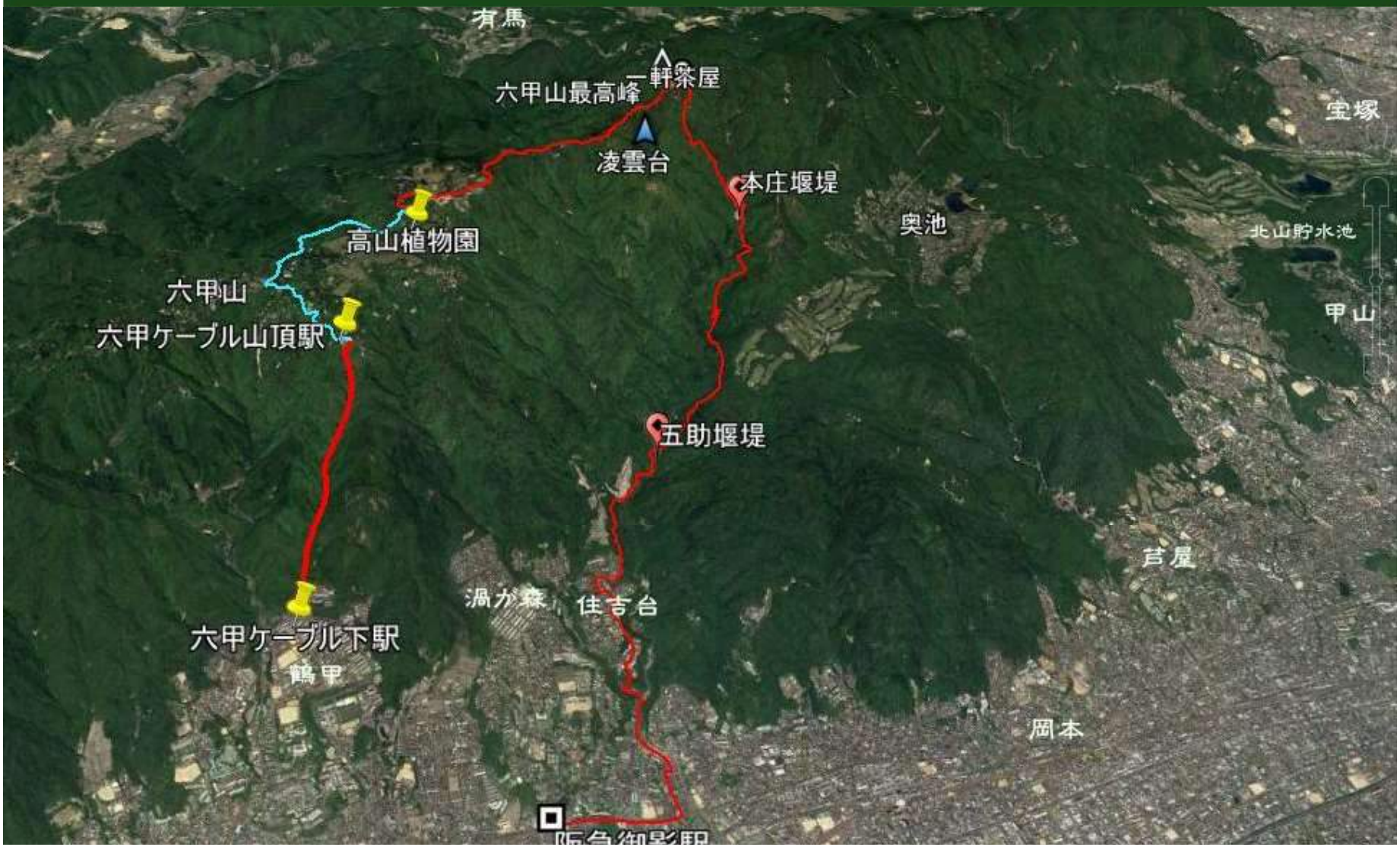






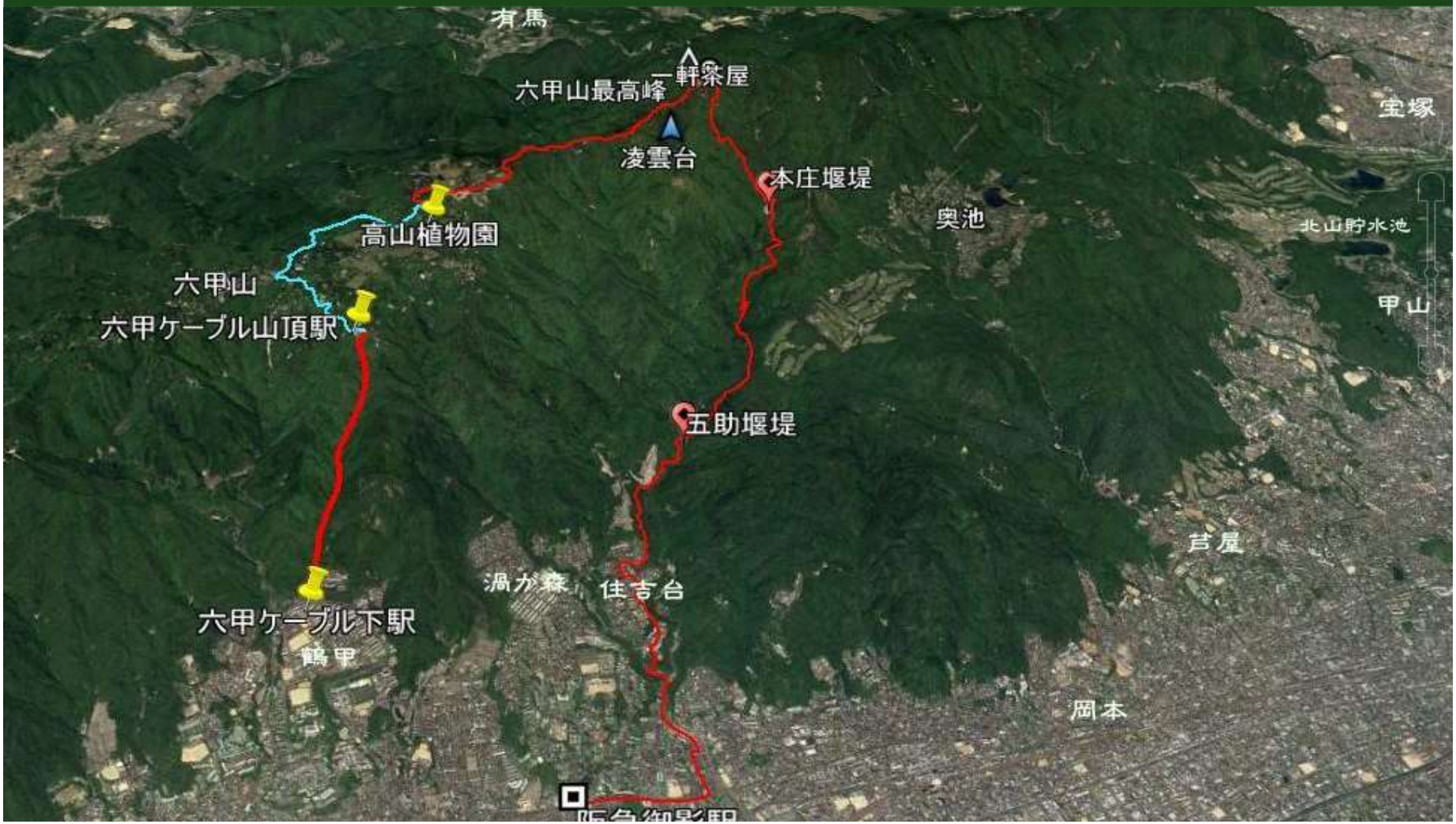
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

2.　六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ



六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く　六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る



西宮浜から眺める六甲連山　全景　internetより　　自分のphotoに置換え予定


武庫川から眺める東六甲・甲山

故郷　尼崎から　いつも眺めた六甲連山　東六甲の姿
今　六甲山上からは　どんな風にみえているのだろうか?

Image Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

西六甲からは眺められぬ東六甲の景色を期待して、
久しぶりに六甲山上を歩く



西六甲　高取山から眺める六甲連山の山並み遠望
摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なり、
六甲の山腹の高所まで広がる住吉地区の市街地、鷲甲、渦が森の団地がかすんで見える。


高山植物園から東へ六甲最高峰へ久しぶりの山上散歩　そこから久しぶりに新緑の住吉谷を下る
六甲山上　六甲全山縦走路を東へ　六甲山最高峰へ登って
二軒茶屋から六甲越の古道を南へ　住吉谷を下る
有馬
一軒茶屋
六甲山最高峰
凌雲台
東おたふく山
奥池
本庄堰堤
高山植物園
六甲山
六甲ケーブル山頂駅
五助堰堤
風吹岩
摩耶山
六甲ケーブル下駅
阪急芦屋川駅
阪急御影駅
六甲北有料道路
六甲有料道路
阪神高速3号北神戸線
西宮北有料道路
Google Earth

六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ　2018.6.14.







12:30　六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって東へ山上walk
六甲の全山縦走路が ほぼドライブウェイと何度か交差しながら、並行して
東六甲へ伸びる。六甲高山植物園前からドライブウエイをカントリーハウス・
ガーデンテラス前まで歩いて、六甲全山縦走路に入る


六甲山最高峰
一軒茶屋
有馬
山上道路に沿って六甲全山縦走路
六甲山上稜線
凌雲台
有馬ロープウェイ駅
NTT無線中継所
カントリー
ハウス
ガーデンテラス
高山植物園
高山植物園から六甲最高峰へ　概略図











12:30　六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって東へ山上walk

山上道路を北六甲　ガーデンテラス地区へ


六甲ケーブル山頂駅
六甲ケーブル下駅
高山植物園
ガーデンテラス
住吉谷
五助堰堤
有馬ロープウェイ駅
カントリー
ハウウス
高山植物園から六校最高峰へ　　概略図
六甲山上　　北六甲　ガーデンテラス周辺

Internet 画像　六甲山上　ガーデンテラス









Internet 画像　六甲山上　ガーデンテラス











ガーデンテラスからドライブウエイを離れ、並行する縦走路に入り、六甲山最高峰へ

2018.6.14.　12:45



ガーデンテラスから東へ伸びる全山縦走路入口　2018.6.14.　12:45
ガーデンテラスの東端から山上南側崖に沿って東へ縦走路が伸びている。
山上のドライブウェイを歩かずとも縦走ができる全山縦走路が山上に
きっちり整備されているのを初めて知りました。







ガーデンテラスから縦走路に入り、六甲山最高峰へ　　2018.6.14.　12:45

奥池　さらに阪神間　海岸部まで広がる西宮・尼崎の市街が見えている
2018.6.14.　六甲山上　ガーデンテラス東の六甲全山縦走路　NTT無線中継所電波塔周辺より







2018.6.14.　六甲山上　ガーデンテラス東 六甲全山縦走路　NTT電波塔周辺より



西おたふく山の尾根の向こうに奥池　さらに阪神間　西宮・尼崎の市街が見えている
2018.6.14.　六甲山上　ガーデンテラス東　の六甲全山縦走路　電波塔周辺より



電波塔がそれぞれの頂上にある　左:六甲山最高峰　右:西おたふく山の頂上が見えている　2018.6.14.



ガーデンテラスのすぐ東の縦走路　南側展望が素晴らしい北六甲　NTT無線中継所周辺　2018.6. 14.12:50







六甲山上稜線　緑の林の中　南側の展望が効く　全山縦走路を東の六甲最高峰へ

2018.6.14.



山上Drive Way・県道16を北へ渡り　有馬へ下る有馬紅葉谷入口　13:03







ドライブウエイを北へ渡り有馬へ下る有馬紅葉谷入口　13:03

縦走路はドライブウエイの路肩を少し東へ歩いて、北へまた林の中へ



紅葉谷入口からドライブウエイ沿いに少し東へ歩くと、ドライブウェイとクロスして
縦走路は階段道でさらに東へ　六甲山最高峰へと続く　2018.6.14.



南側から北側へドライブウェイとクロスして縦走路は登りの階段道　さらに東へ　13:05


新緑に包まれた縦走路　緑のトンネルの山上Walk すこぶる心地よし



六甲全山縦走路　六甲山上　2018.6.14.



六甲全山縦走路　六甲山上　凌雲台・西おたふく山への分岐　2018.6.14.13:16



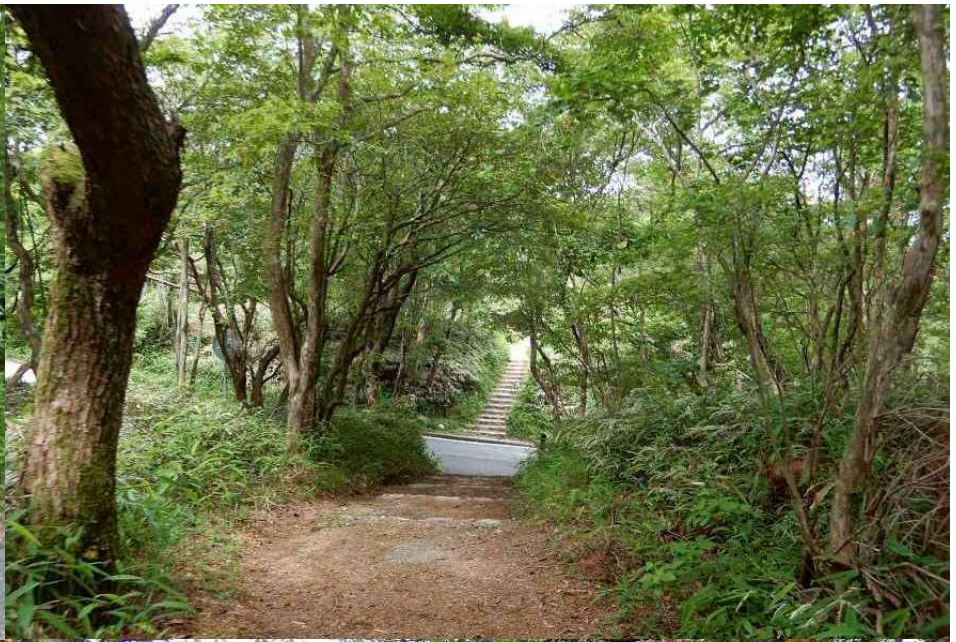


西おたふく山の凌雲台にある電波塔が見えている

13:16

2018.6.14 13:16









凌雲台･西おたふく山への分岐をクロスしてさらに東へ
緑の林の中　六甲稜線の道　六甲全山縦走路　　2018.6.14.　　13:16



神戸市北区/東灘区の境界　2018.6.14.　13:29
drive wayを再度クロスして　縦走路は稜線の北側へ　最高峰は近い



林の中　稜線を行く　樹木の間から最高峰頂上にある電波塔が見える　　2018.6.14.



いよいよ 六甲最高峰への登りにとりつく　　2018.6.14.　　13:31






樹木の間から稜線北側の景色を垣間見ながら、少し林の中を登ると視界が開け、
最高峰の広い山頂部の南端に飛びだすT字路【1】　2018.6.14.　13:35





樹木の間から稜線北側の景色を垣間見ながら、少し林の中を登ると視界が開け、
最高峰の広い山頂部の南端に飛びだす丁字路【2】　2018.6.14.　13:35

13:35
Dorive wayから登ってきた道を右　北側へ歩けば山頂　南には眼下に広がる大阪平野が遠望される
いつから、ここへ登って来ていないのだろうか。



六甲山最高峰頂上へ　北への最後の緩やかな登山道　2018.6.14.



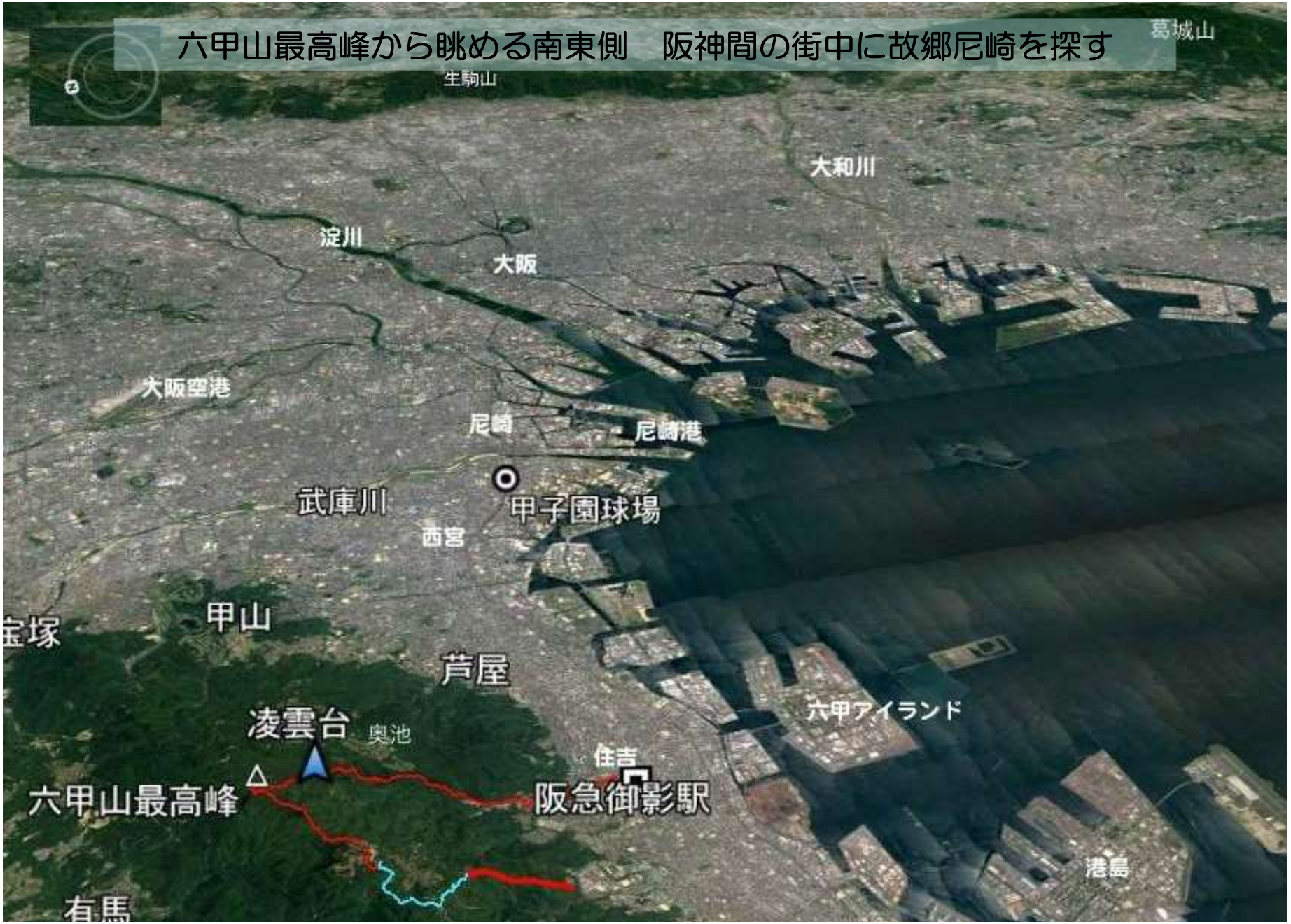
六甲山最高峰頂上　　2018.6.14.　　13:38

高山植物園から約1時間の山上walkn 遮るもののない360度の大展望



山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める　　2018.6.14.


六甲山山頂部のGoogle Earth 画像
一軒茶屋
電波塔
六甲山最高峰
至石の宝殿 宝塚 芦有
drive way(有馬 芦屋)
山上drive way
県道16号
至六甲ケーブル・高山
植物園ほか 六甲山上


六甲山最高峰から眺める南東側　阪神間の街中に故郷尼崎を探す
生駒山
葛城山
大和川
淀川
大阪
大阪空港
尼崎
尼崎港
武庫川
甲子園球場
西宮
甲山
芦屋
凌雲台
奥池
六甲アイランド
住吉
六甲山最高峰
阪急御影駅
港島
有馬


尼崎
阪神電車武庫川駅
武庫川
鳴尾浜球場
甲子園球場
宝塚
甲山
西宮
奥池
芦屋
凌雲台
六甲山最高峰
電波塔
本庄堰堤
風吹岩
五助堰堤
高山植物園
有馬
阪急御影駅
六甲ケーブル山頂駅
六甲山
六甲ケーブル下駅
摩耶山



谷を挟んで南西側には歩いてきた六甲の山上　歩き始めた六甲山上ガーデンテラスや
有馬ロープウエイ駅の鉄塔電波塔群が見えている
六甲最高峰頂上より南西側の展望　　2018.6.14.



六甲連山の山並みの北側の奥に有馬温泉が見えている
六甲最高峰頂上より西側の展望　　2018.6.14.



正面に北神戸から三田の街並み遠望

六甲最高峰頂上より北側の展望　　2018.6.14.



正面に北神戸から三田の街並み遠望

六甲最高峰頂上より北側の展望　　2018.6.14.



電波塔のある山上部に隠れて見えない南東側の大阪平野　　2018.6.14.　山上の北端より



六甲最高峰山上の南端から眺める南東側に広がる大阪平野の大展望　**2018.6.14.**

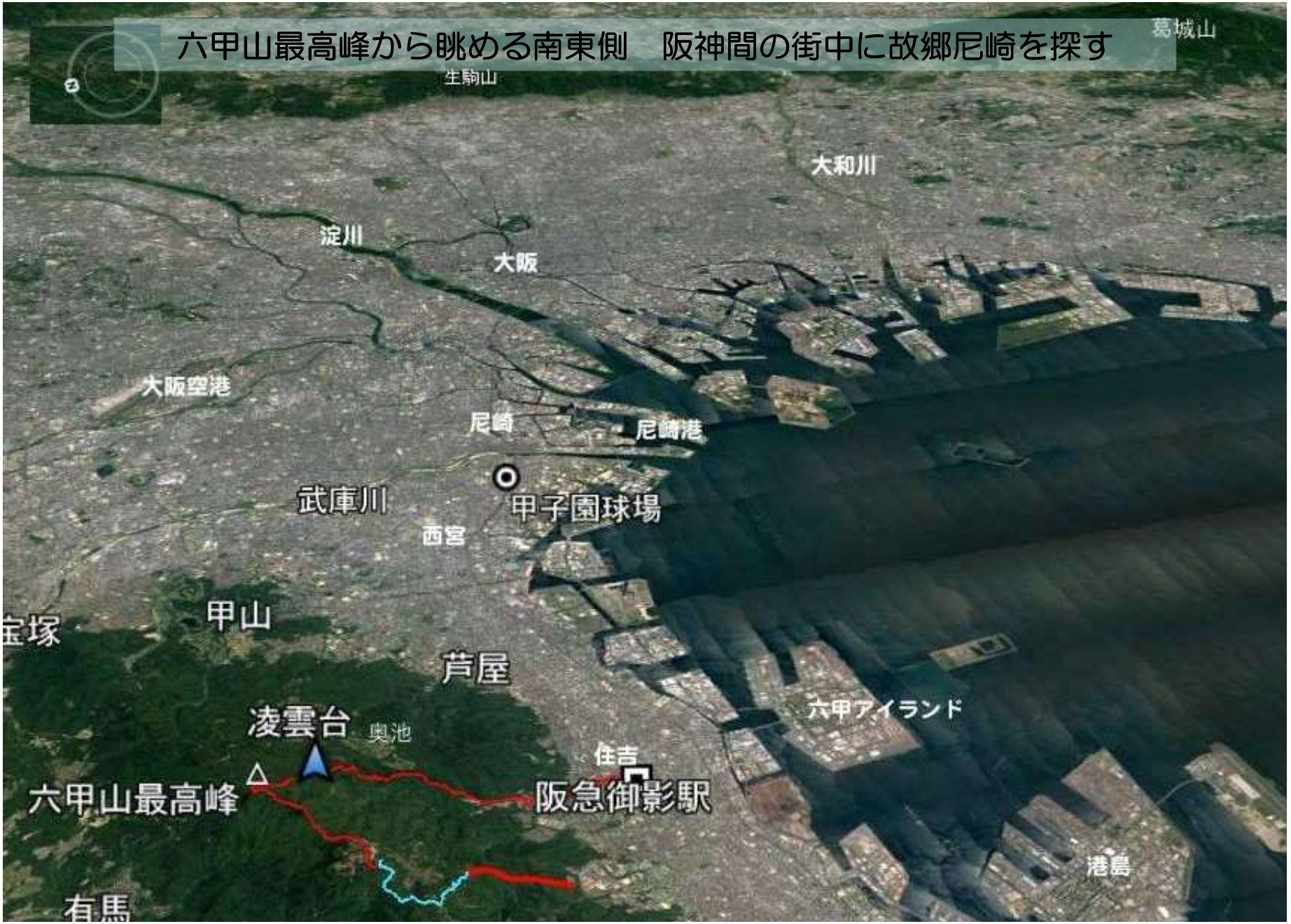




左の生駒山を背に広がる大阪平野　中央緑の帯が武庫川　右には西宮・尼崎の港　手前中央に芦屋奥池の街



六甲最高峰から眺める大阪平野　2018.6.14.


六甲山最高峰から眺める南東側　阪神間の街中に故郷尼崎を探す
葛城山
生駒山
大和川
淀川
大阪
大阪空港
尼崎
尼崎港
武庫川
甲子園球場
西宮
甲山
芦屋
凌雲台
奥池
六甲アイランド
住吉
六甲山最高峰
阪急御影駅
港島
有馬



手前　山中に見えるのが東おたふく山山麓　奥池の街並　子供の頃定番のハイキングコース　その向こうに　ぼんやり見える生駒の山並みを背に　西宮～大阪の市街地が見える　　左から右へ中央の緑の帯が尼崎/西宮を分ける武庫川　その奥　薄い白い帯が淀川　その間に故郷尼崎が見えている

六甲山最高峰から眺める東側　六甲連山に沿って広がる街並　2018.6.14.

生駒山

（大阪のビル群を背景に　南北に流れる淀川の流れ）

玉江橋　阪神尼崎駅

R171•新幹線　名神　山手幹線

（緑のベルト•武庫川）　R2•武庫川大橋　（緑のベルト•武庫川）　甲子園



六甲山上 六甲最高峰より 尼崎遠望　2018.6.14.

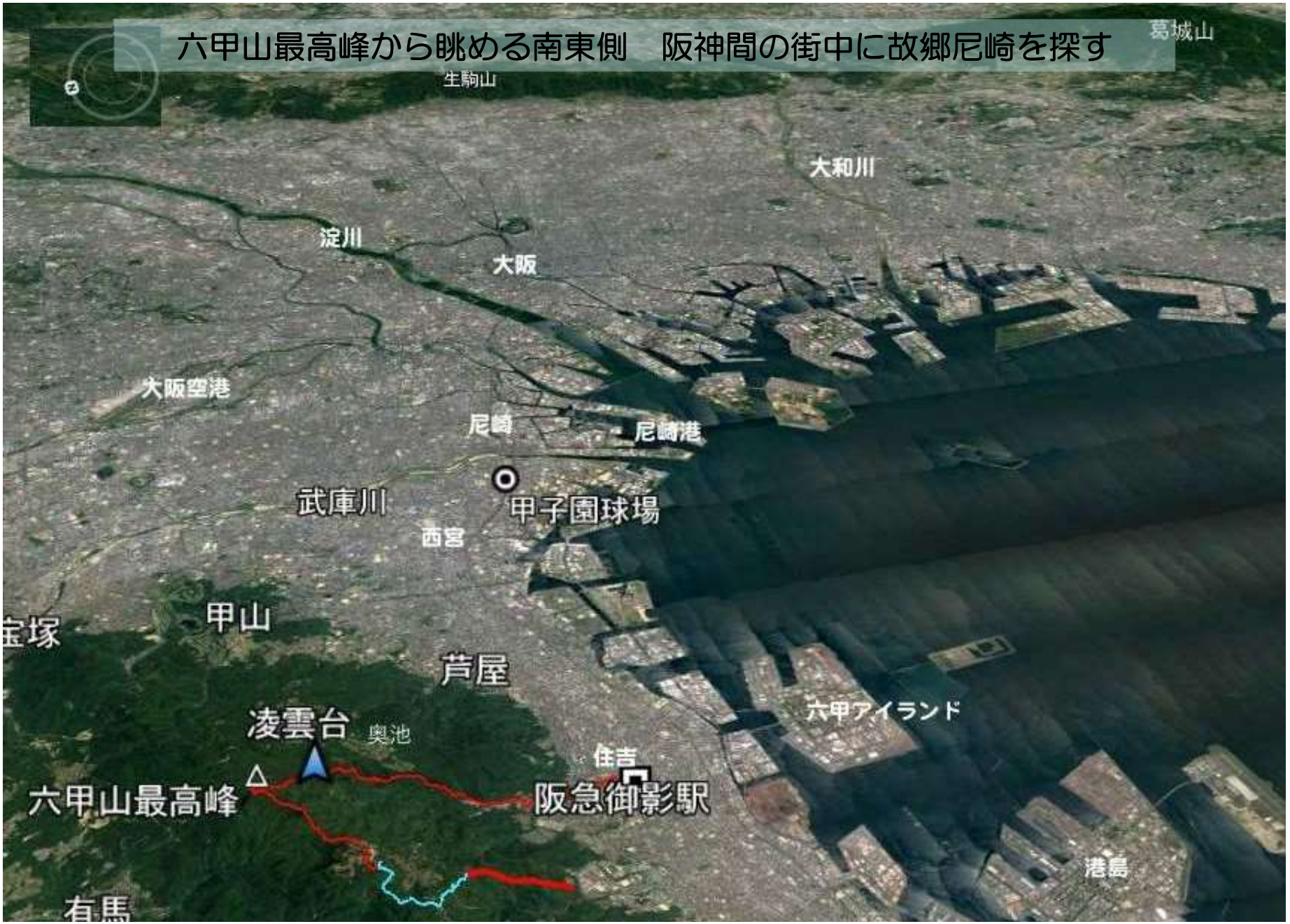


六甲山最高峰から眺める南東側　阪神間の街中に故郷尼崎を探す(1)
東西に阪神国道に沿ってビル群が東西に並ぶ西宮の中心街　右端の緑が西宮神社(えべっさん)か?
右端〇印が阪神尼崎あたり　ぼんやり再建中の尼崎城がみえている気がする



六甲山最高峰から眺める南東側　阪神間の街中に故郷尼崎を探す(2)

大阪の街のビル群･淀川を背に　〇印が阪神尼崎・玉江橋周辺　目印白いアルカイックホテル・総合文化センターのビルが見える。　その左が阪神尼崎周辺? 尼崎城がみえている気がする


六甲山最高峰から眺める南東側　阪神間の街中に故郷尼崎を探す
生駒山
葛城山
大和川
淀川
大阪
大阪空港
尼崎
尼崎港
武庫川
甲子園球場
西宮
甲山
芦屋
凌雲台
奥池
六甲アイランド
住吉
六甲山最高峰
阪急御影駅
港島
有馬

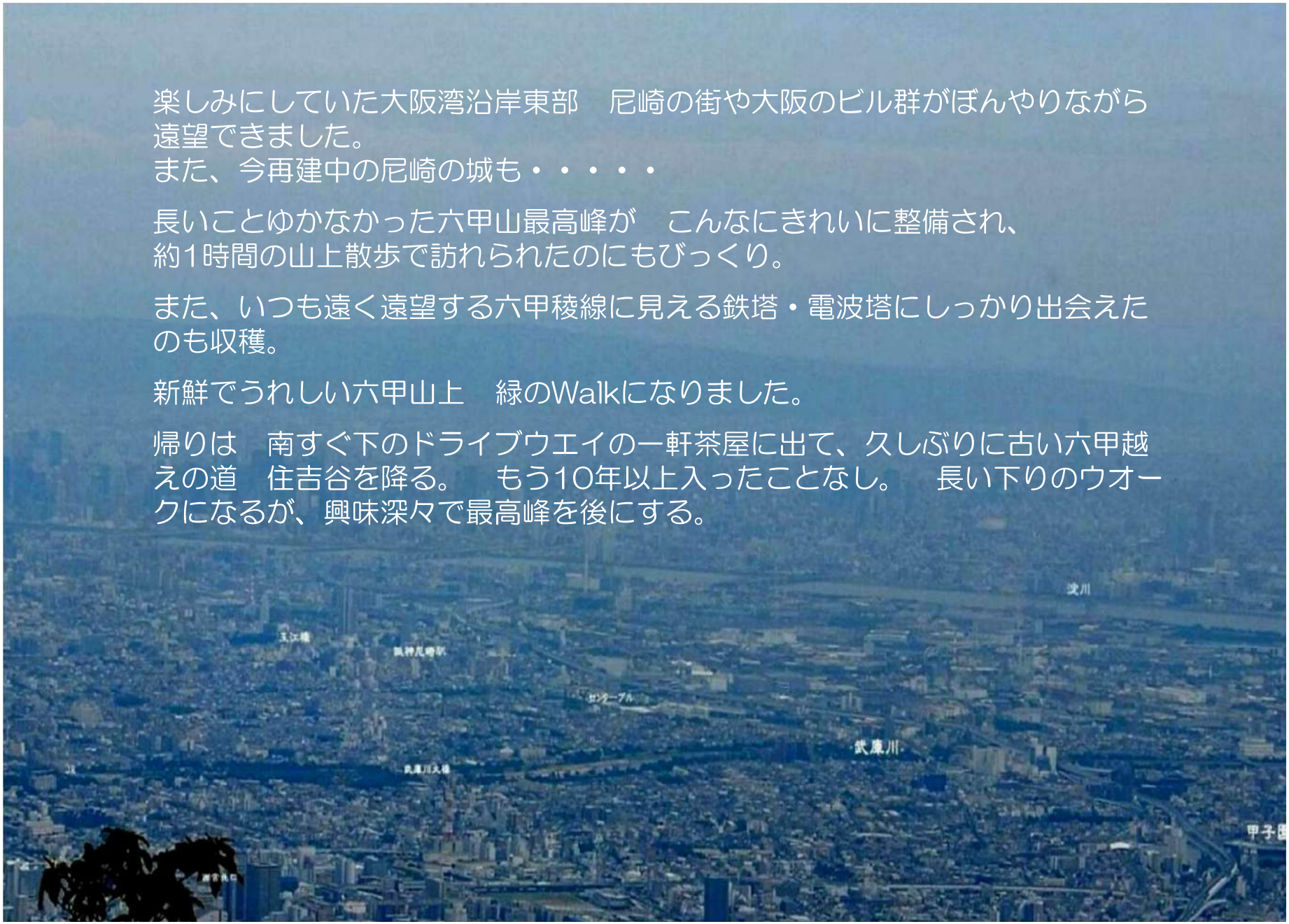
楽しみにしていた大阪湾沿岸東部　尼崎の街や大阪のビル群がぼんやりながら遠望できました。
また、今再建中の尼崎の城も・・・・・

長いことゆかなかった六甲山最高峰が　こんなにきれいに整備され、
約1時間の山上散歩で訪れられたのにもびっくり。

また、いつも遠く遠望する六甲稜線に見える鉄塔・電波塔にしっかり出会えたのも収穫。

新鮮でうれしい六甲山上　緑のWalkになりました。

帰りは　南すぐ下のドライブウエイの一軒茶屋に出て、久しぶりに古い六甲越えの道　住吉谷を降る。　もう10年以上入ったことなし。　長い下りのウオークになるが、興味深々で最高峰を後にする。





山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める　　2018.6.14.

六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ　2018.6.14.





＜　終　＞

引き続き　楽しみにしていた住吉谷を下る



裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越 有馬道
六甲最高峰より古道「住吉道」から住吉谷を下る



山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める　　2018.6.14.

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

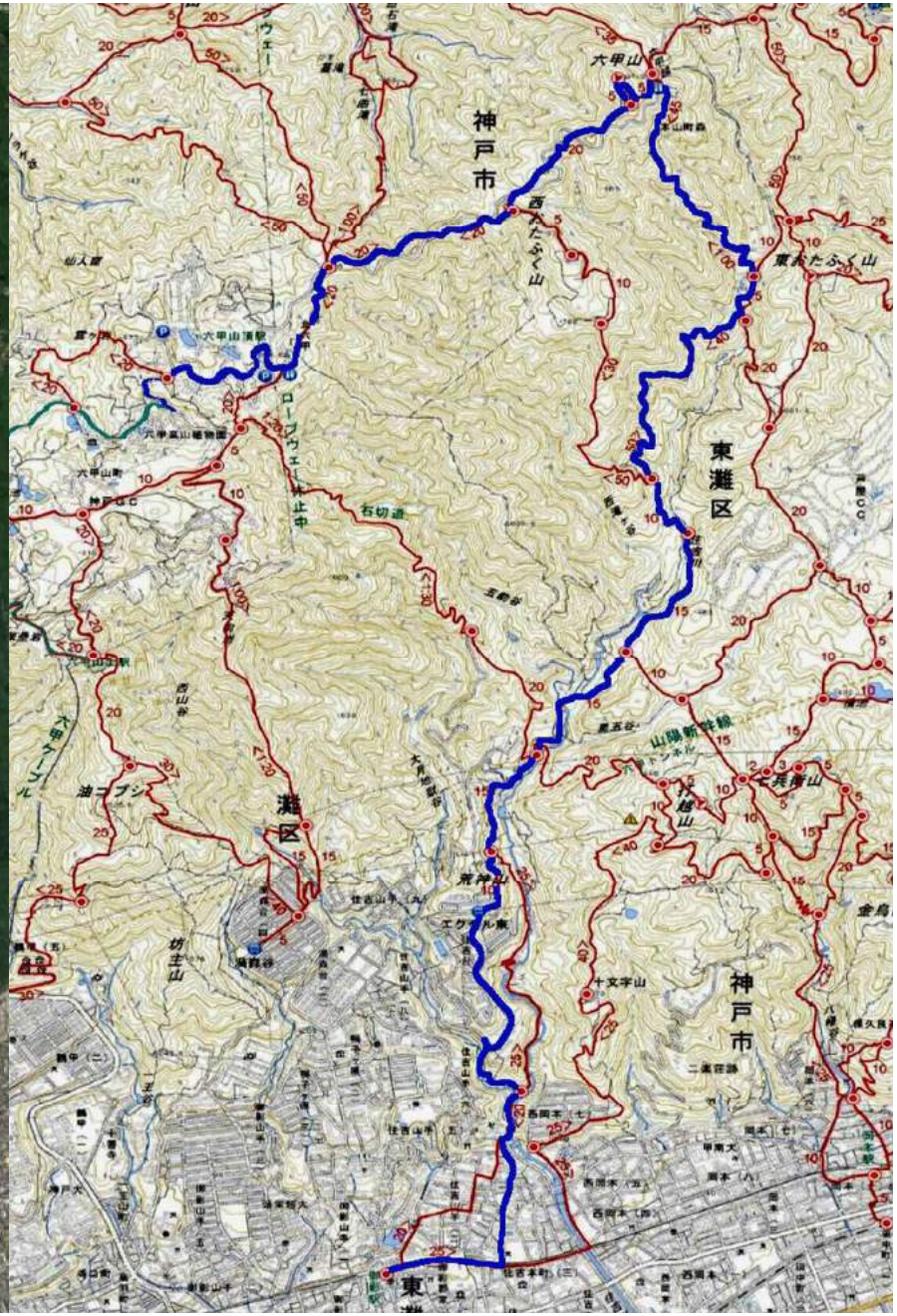
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る

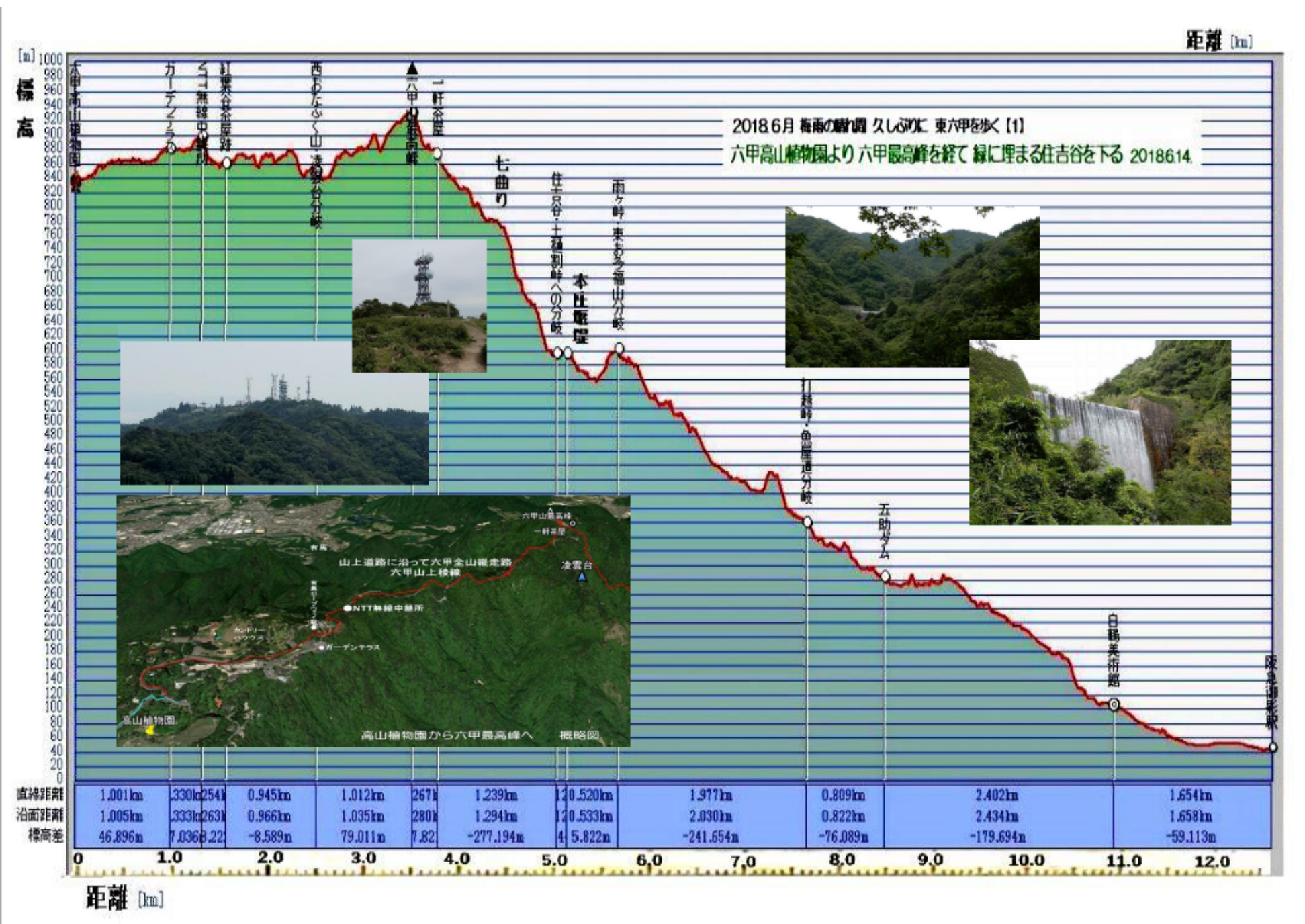




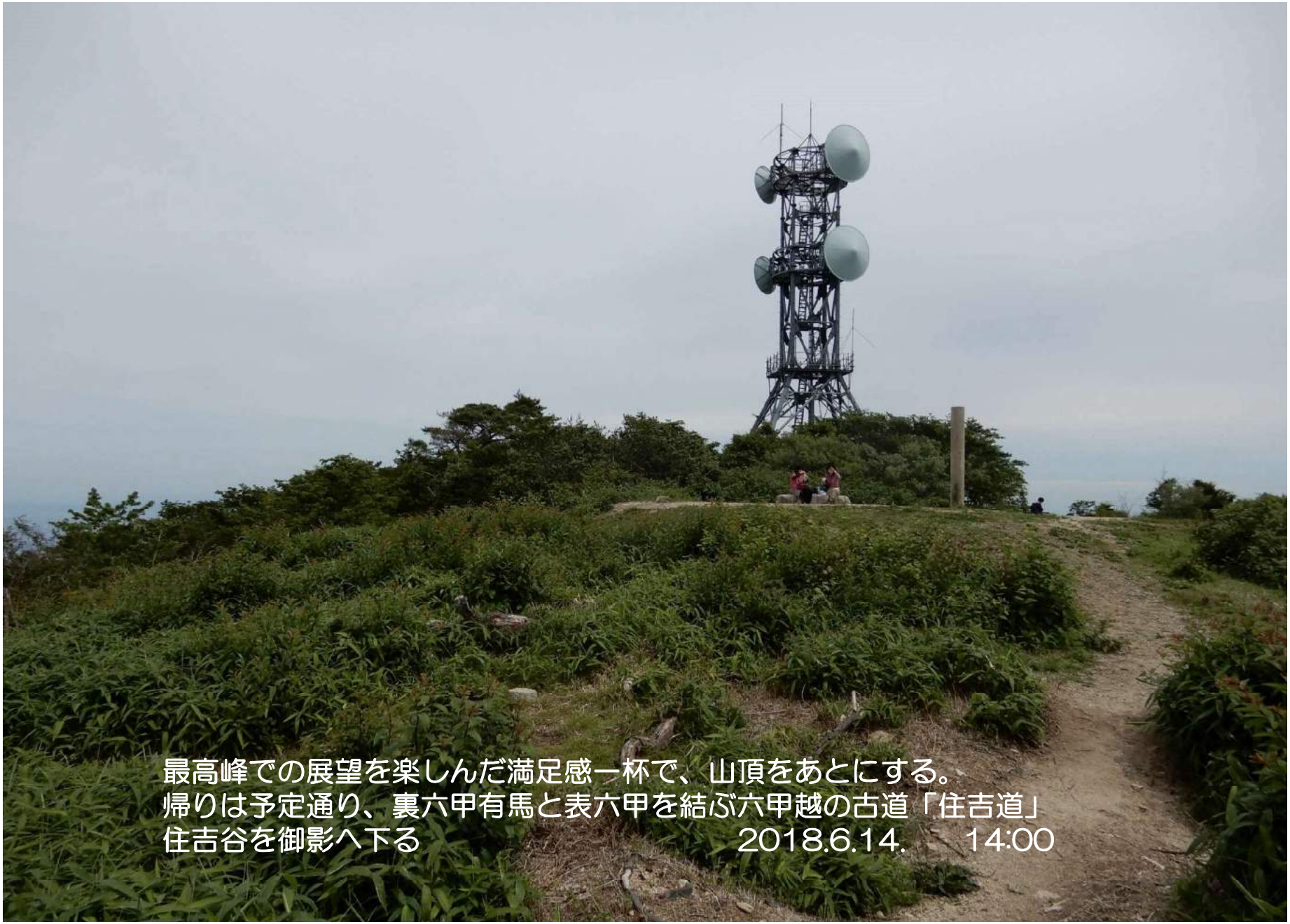



有馬
六甲山最高峰
一軒茶屋
凌雲台
高山植物園
本庄堰堤
東おたふく山
奥池
六甲ケーブル山頂駅
五助堰堤
風吹岩
六甲ケーブル下駅
阪急御影駅

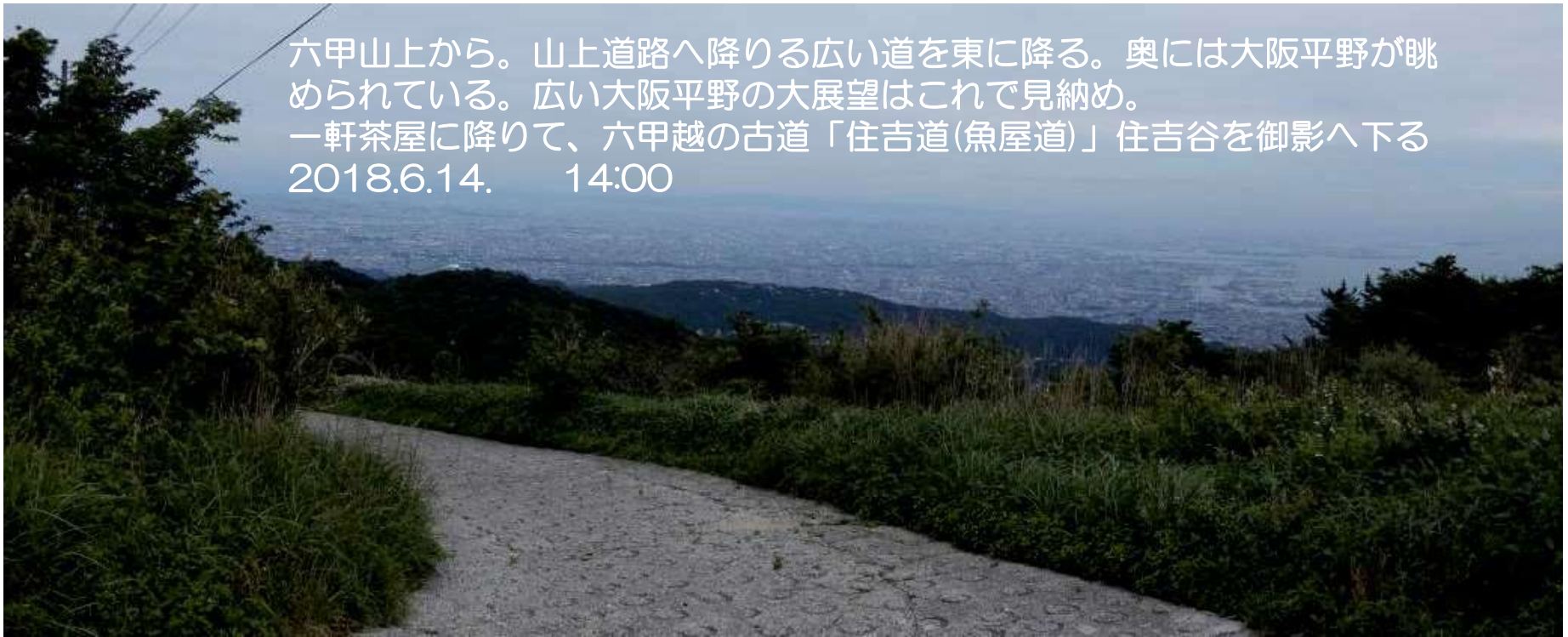

六甲山
神戸市
西おたふく山
東おたふく山
六甲山頂駅
六甲高山植物園
ロープウェー休止中
石切道
東灘区
灘区
油コブシ
十文字山
神戸市


2018.6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く【1】
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 緑に埋まる住吉谷を下る 2018.6.14
距離 [km]
標高 [m]
六甲高山植物園
ガーデンテラス
NTT無線中継所
紅葉谷谷屋跡
西ぐちたぶく山 逆瀬谷分岐
六甲山最高峰
一軒茶屋
七曲り
住吉谷・土樽別峠への分岐
本住吉駐屋
雨ヶ峠・東おた多福山分岐
打越峠・魚屋道分岐
五助ダム
白鶴美術館
阪急御影駅
山上道路に沿って六甲全山縦走路
六甲山上線線
凌雲台
高山植物園から六甲最高峰へ 概略図
直線距離
沿面距離
標高差
1.001km 1.330km 0.945km 1.012km 1.239km 0.520km 1.977km 0.809km 2.402km 1.654km
1.005km 1.333km 0.966km 1.035km 1.294km 0.533km 2.030km 0.822km 2.434km 1.658km
46.896m 7.036m -8.589m 79.011m -277.194m 5.822m -241.654m -76.089m -179.694m -59.113m
0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0 7.0 8.0 9.0 10.0 11.0 12.0
距離 [km]


六甲山最高峰
一軒茶屋
凌雲台
本庄堰堤
高山植物園
奥池
宝塚
北山貯水池
甲山
六甲山
六甲ケーブル山頂駅
五助堰堤
芦屋
渦が森
住吉台
六甲ケーブル下駅
鶴甲
岡本



最高峰での展望を楽しんだ満足感一杯で、山頂をあとにする。
帰りは予定通り、裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」
住吉谷を御影へ下る　　2018.6.14.　　14:00



六甲山上から。山上道路へ降りる広い道を東に降る。奥には大阪平野が眺められている。広い大阪平野の大展望はこれで見納め。
一軒茶屋に降りて、六甲越の古道「住吉道(魚屋道)」住吉谷を御影へ下る
2018.6.14.　　14:00





谷を挟んで南西側には歩いてきた六甲の山上　歩き始めた六甲山上ガーデンテラスや
有馬ロープウエイ駅の鉄塔電波塔群が見えている
六甲最高峰頂上より南西側の展望　　2018.6.14.



最高峰から南等
すぐ下の山上ドライブウェイにある一軒茶屋が見え、
その奥が今から下る住吉谷　古道　魚屋道・住吉道である。



2018.6.14.　　一軒茶屋横　山上ドライブウェイにでる



2018.6.14.　山上ドライブウェイにある一軒茶屋



2018.6.14.　　山上ドライブウェイにある一軒茶屋

建物の南側に一軒茶屋の碑があり、この南が住吉谷へ降りてゆく古道「住吉道(魚屋道)」の下り口である　　14:06


六甲山
神戸市
西おたふく山
東おたふく山
東灘区
石切道
山陽新幹線
トンネル
大月地獄谷
七兵衛山
大越山
荒神山
エクセル東
住吉山手
十文字山
神戸市
二葉団地
西岡本
甲南大
岡本
東灘
魚屋道
←
六甲最高峰・雨ケ峠・風吹岩・有馬
2018.6.14.　住吉谷へ下る七曲りの急坂の入口　14:09


摩耶山
阪急御影駅
六甲ケーブル下駅
渦が森
住吉台
六甲ケーブル山頂駅
高山植物園
五助堰堤
風吹岩
雨ケ峠・芦屋川分岐
凌雲台
雨ケ峠
本庄堰堤
東おたふく山
土樋割峠・奥池分岐
魚屋道(住吉道)
七曲り
六甲山最高峰
一軒茶屋
奥池
Google



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂
山上稜線から谷筋にはいると緑につつまれ、急な下り道が続く



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂


2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂
遠くに谷越しに西おたふく山の電波塔が見える
14:20

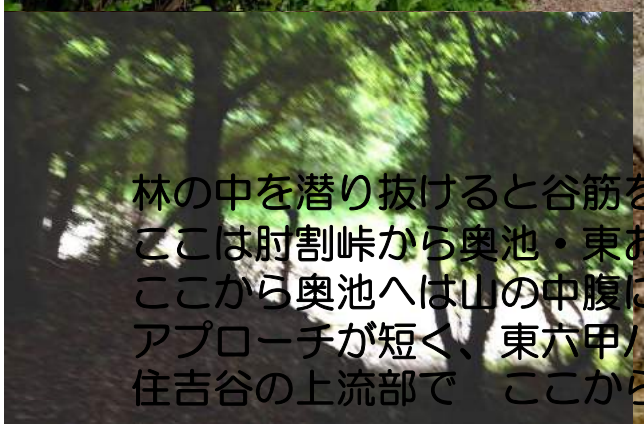


住吉道から眺める住吉谷
右手に本庄堰堤がちらっと見えるが、この左　緑の中に本庄橋跡がある　　14:32


急な山の斜面　七曲りの下り道を終え　雨ケ峠から保久良神社への標識
14:33







林の中を潜り抜けると谷筋を流れ下る住吉川の上流部に出て、反対側へ渡る。**14:35**
ここは肘割峠から奥池・東おたふく山への道との分岐点。
ここから奥池へは山の中腹に開かれた住宅地で専有道路をバスが通っているで、
アプローチが短く、東六甲ハイクの登山口として使う人が多い。
住吉谷の上流部で　ここから道は住吉川の谷筋と　を東おたふく山に沿って下る



2018.6.14.　川を渡ったところが、土樋割峠から奥池・東おたふく山への道との分岐点。



ここからは東おたふく山の山腹に沿って　住吉川の左岸につけられた住吉道
左岸道を下る　谷筋道であるが、緑に包まれ、谷底などは視界が遮られみえない







本庄堰堤を眺めながら横を通過　東おたふく山の山腹沿いを降る　14:38
かつての暴れ川　住吉川　砂防工事が行われ、いくつも堰堤が作られている



六甲山は、激しい地震を伴いながら、断層のずれを繰り返した結果出来上がった山で、地下深くまでズタズタに割れ、激しく風化しています。このため、過去に幾度も大きな災害が引き起こされ、ました。
明治の頃、乱伐によって裸地であった六甲山は、治山事業等による緑化工事の結果、現在の緑の豊かな美しい山に蘇りました。
しかし、植物が育つうえで、その土壌は未熟で極めて薄く、雨が降るとすぐ流されてしまうのが現状です。
また、雨は下方に一気にしみ込んでしまう地質のため、水を蓄える力もほとんどありません。
樹木の根が生長し、災害に強く、土の層が水を蓄える力を十分持つようになるためには、何百年の歳月をさらに必要とし、今も緑の回復に全力で取り組まれている。

激しく浸食が続いている六甲山には、階段式に数多く治山ダムをつくる必要があります。
過去に何度も、激しい豪雨に耐えきれなくなった山が崩れ、土砂流となって街を襲いました。
中でも、700人を越える死者・行方不明者を出した昭和13年災害、100人を越える死者・行方不明者を出した昭和42年災害は、近年で特に大きく、街に壊滅的な被害を与えました。



住吉川の惨状（「阪神地方水害記念帳」より）



治山ダムの役割

一つは、谷から極端に砂礫が流れ出ないようにくい止めて、浸食を防止することです。不安定な山の斜面が大雨で土石流化し、災害を引き起こすのを防ぐと共に、森の土が流れ出ないようにすることにより、樹木の根の成長を促します。根がネットのようにはりめぐらされ、杭のように地面に刺さっていけば、山が崩れるのを防ぐ力がさらに発揮されるようになります。

　もう一つは、治山ダムの裏に貯まった土砂と土砂の隙間に、雨水を貯えることです。土の中の微生物や昆虫、植物等が生きていくための大切な水を、ゆっくり下流に流すことにより、渓流から水が涸れるのを防ぎ、乾燥した時期にも供給することができます。また、大雨が降っても、いっきに水が流出することを押さえて、洪水を調節する機能も持っています。　　（インターネットより）

六甲山で起こった災害

六甲山地は、東は武庫川右岸山麓から六甲山・摩耶山・再度山などの山並みを連ね、西は鉢伏山までの、東西に約３０km、南北に約１０kmの山地で、大部分を風化した花崗岩で覆われています。

風化した花崗岩は、大雨・長雨により崩れやすく、これまで数多くの土砂災害を起こしました。

昭和１３年７月５日に発生した阪神大水害では、下流域の街を巨大な土石流が襲い多くの人命や家屋を失いました。



阪急鉄橋より下流を望む



住吉川に流れて来た巨岩

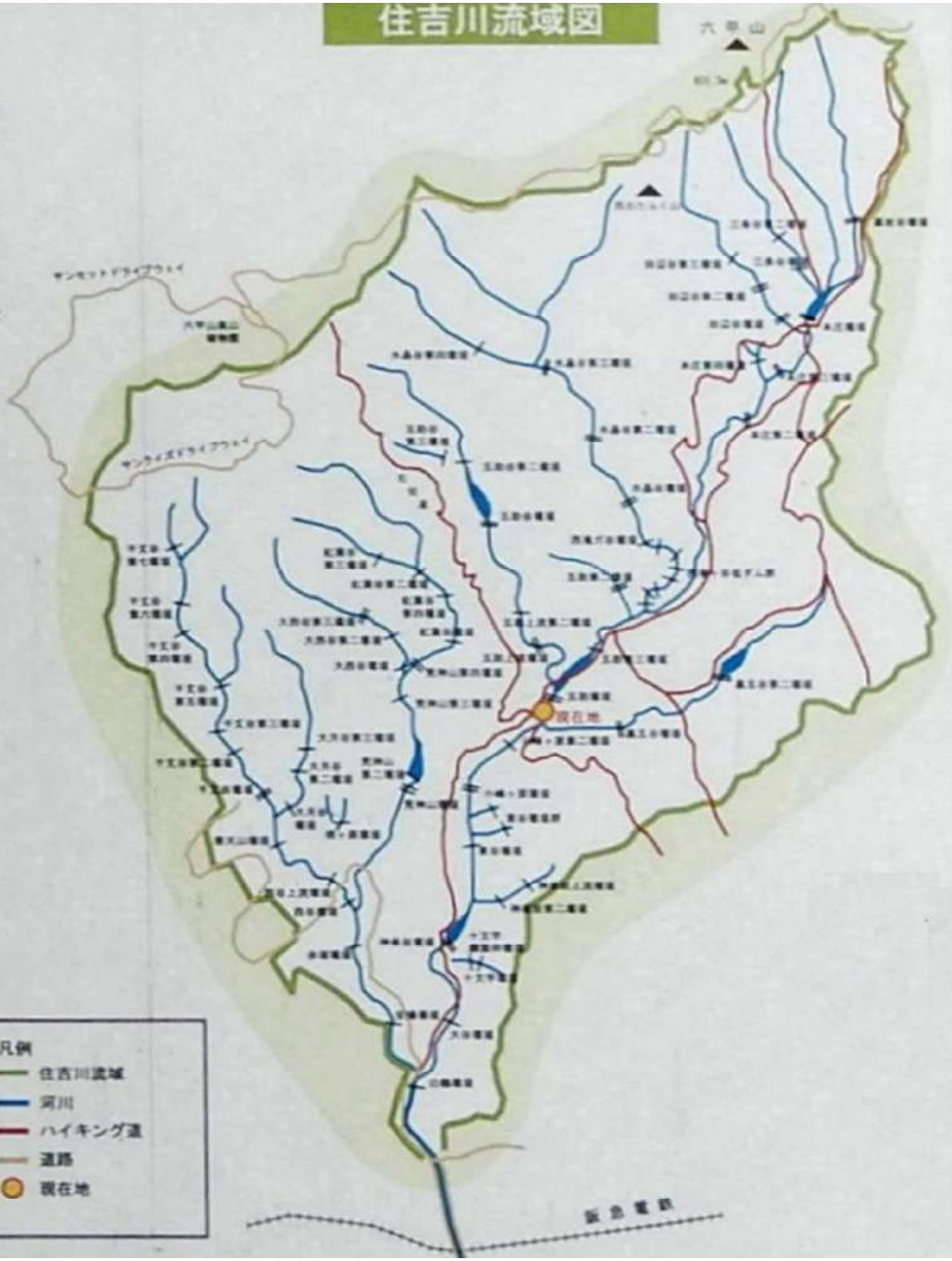


国道住吉橋付近を望む



住吉小学校第二校舎北側

住吉川流域図



国土交通省　六甲砂防事務所

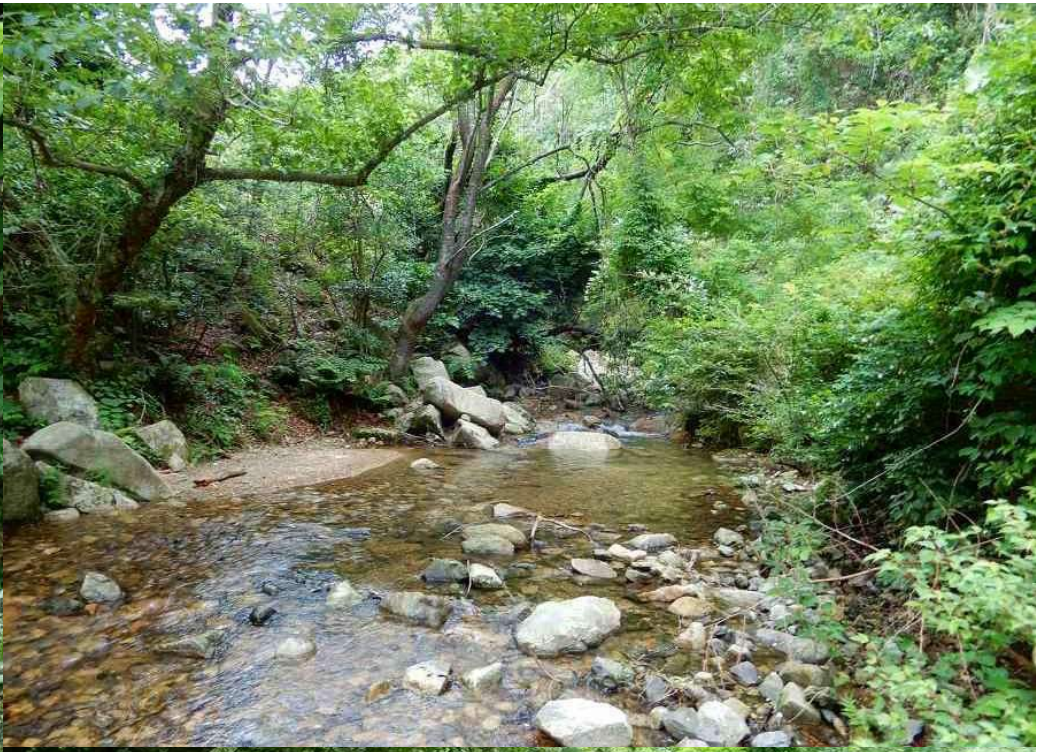
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535

六甲の川物語 ～みんなで調べ、伝えよう！住吉川物語～

六甲山地の自然や歴史・文化にまつわる街の不思議や素晴らしさを楽しく学べる学習教材「六甲の川物語」

ホームページ：http://www.rokko.kkr.mlit.go.jp/

「六甲の川物語「冊子」「サブノート」「散策マップ」が




住吉道
14:44









谷筋道を登ったり下ったり、緑のトンネルが美しい
かつては丸裸になって、荒れた住吉谷であるが、見事に緑が復活して美しい。



住吉道と雨ケ峠を芦屋川へ下る道との分岐周辺　　14:50

魚屋道はここから左へ雨ケ峠へ向かうが、住吉道はそのまま住吉川に沿って五助堰堤へ下ってゆく



緑に埋まった住吉谷中心部　　2018.6.14.　　14:52

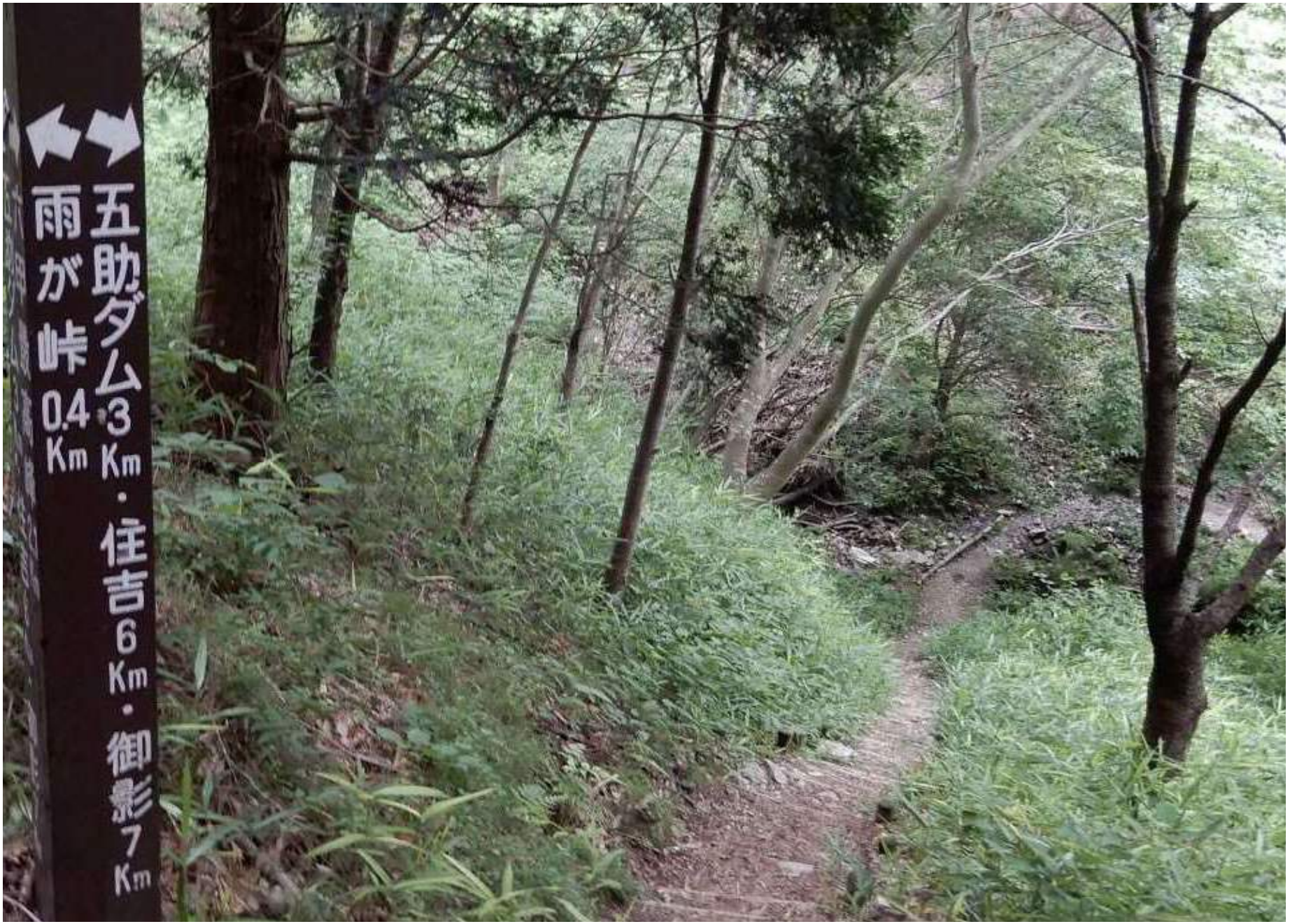
雨ケ峠分岐周辺からは　今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、
後ろに本田穂線の山並みが見えている



緑に埋まった住吉谷中心部　　2018.6.14.　　14:52

雨ケ峠分岐周辺からは　今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、
後ろに本田穂線の山並みが見えている


土樋割峠
至奥池
東おたふく山
西おたふく山
雨ケ峠分岐
現在地
雨ケ峠
東灘区
芦屋CC
至風吹岩
右岸道
至五助堰堤
雨ケ峠へ登る道がここにもある
14:56


五助ダム3Km・住吉6Km・御影7Km
雨が峠0.4Km



東おたふく山 雨ケ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへのと下る住吉道　2018.6.14. 15:00



雨ケ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへと下る住吉道　2018.6.14.

ここでも　すぐ下の谷に住吉川に作られた堰堤が見え、急流住吉川の土石流のこわさがわかる



住吉谷　雨ケ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへと下る住吉道　2018.6.14.

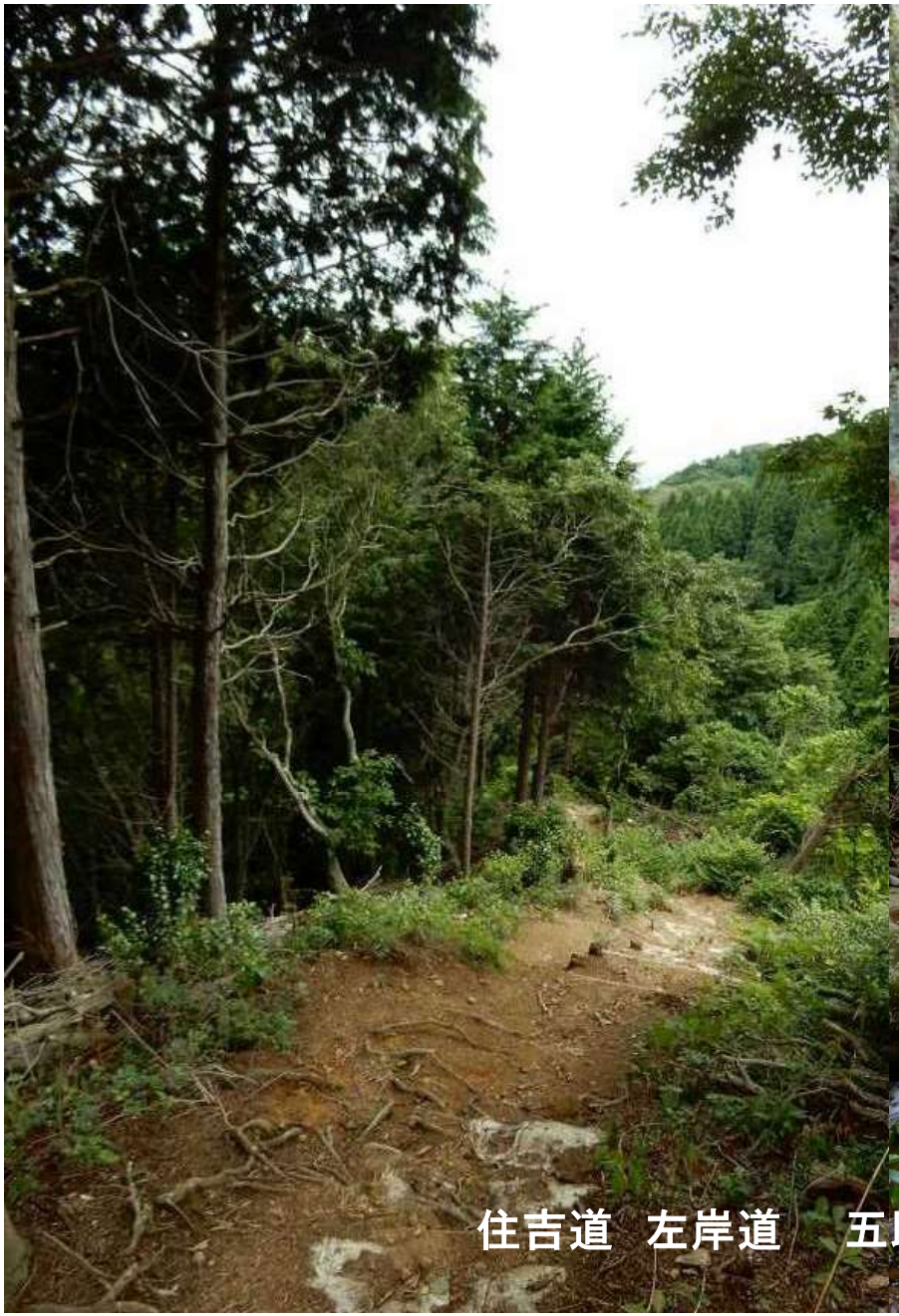


住吉道　左岸道　　五助ダムの手前で　　2018.6.14.　　15:04

ここから道は東おたふく山の巻道から谷の底へと下ってゆく



住吉道　左岸道　　五助ダムへの下りで　　2018.6.14.







住吉道　左岸道　　五助ダムへの下りで　　2018.6.14.

15:10



住吉道　住吉川　左岸道　　五助ダムの手前　谷底に降りて　　2018.6.14.
少し並行して進むが、また山の巻道に



住吉道　住吉川　左岸道　　五助ダムの手前　谷底に降りて　　2018.6.14.
少し並行して進むが、また山の巻道に


谷から山襞に沿って林の中に入る　15:21







林を抜けるとまた、住吉谷の崖沿いに、周囲はぱっと明るくなって緑に包まれる



住吉道　五助ダムの手前　打越山への分岐近く　谷の奥に六甲最高峰の塔か?
15:24









ここから、山中に突然　石畳み道が現れました　15:32

住吉道　打越山への分岐近くで　　2018.6.14.

アカホヤ火山灰の地層

六甲山地の形成

アカホヤ火山灰とは、約7,300年前に南九州の姶良火山（鬼界カルデラ）が噴出活動したときに、日本全土をおおうぐらい広範囲に火山灰が降下してきたものです。西滝ヶ谷の露頭では、アカホヤ火山灰層を見ることができます。



アカホヤ火山灰（平成18年の様子）



鬼界カルデラの位置（参考：町田洋・[illegible]）

「アカホヤ」からなにがわかるの？

地層の年代を決める目印となり、アカホヤ火山灰の上にある地層は、約7,300年より新しい地層、下にある地層は約7,300年よりさい地層となります。

西滝ヶ谷の露頭から、アカホヤ火山灰がお断層により変形していることがわかり、約7,300年前以降の新しい時代に断層が活動した証拠となります。

「アカホヤ」はキラキラ光るってほんとう？

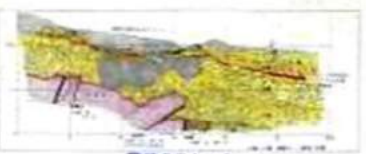
アカホヤ火山灰は、電球が粉々になったようなガラス質ですが、堆積した火山灰の上部が赤黒いことと、ランプのガラスを「ホヤ」と呼ぶことが、合わさって、「アカホヤ」と言われています。九州と六甲のアカホヤでは、色やガラス質粒子の大きさが違います。

●西滝ヶ谷露頭（アカホヤ）

西滝ヶ谷の露頭では、断層運動によってアカホヤ火山灰層をはさんでずれ落ち層が変位しています。これは、約7,300年前以降に三助橋断層が活動したことを示す証拠であり、学術的にも貴重なものです。



西滝ヶ谷露頭 阪神・淡路大震災当時の様子



露頭のスケッチ

※露頭…地層などが地表に露出している部分

砂防工事の工夫

経済的で環境にやさしい堰堤づくり

西滝ヶ谷には、インセム工法でできた砂防堰堤があります。

インセム工法は、工事で発生した土砂とセメントを混ぜ合わせ、突き固めて出来た砂防堰堤です。インセム工法で造る砂防堰堤は、コンクリートで作る砂防堰堤より、現場発生土砂を使うことから費用が安くなります。

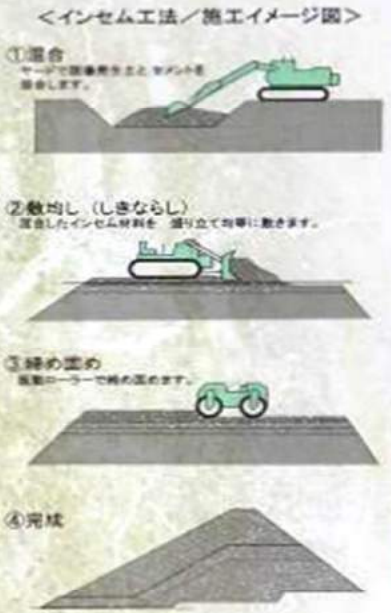
また、堰堤の材料のほとんどが土砂でできていることから、現地の風景になじみます。





インセム工法の堰堤

<インセム工法／施工イメージ図>



インセム（INSEM）の意味とは・・・

インセム（INSEM In-situ Stabilized Excavation Materials）

六甲の川物語 ～ みんなで語り、伝えよう！住吉川物語 ～

【問合わせ先】
国土交通省六甲砂防事務所
住所：〒658-0062 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0635
ホームページ：http://www.rokko.kkr.mlit.go.jp/
〈六甲の川物語「冊子」「サブノート」「散策マップ」がダウンロードできます〉



住吉川に施された砂防工事の案内板　かつて土石流が暴れ下った住吉谷　いくつもの堰が作られ、今は緑に包まれた静かな谷になっている。　六甲の谷筋はほかも急流が駆け下る谷筋、東神戸の街を守る大規模な砂防工事と山全域にわたる植林が施され、緑豊かな静かな谷に。　子供の頃　表六甲の谷筋は　知らぬ谷筋や道に入るなとよく言われましたが、こんなに緑につつまれた谷になっているとは本当にびっくり。　でも　油断禁物だ。



住吉道　打越山への分岐近くで　山中に突然　石畳み道が現れました
古道　住吉道のなごりか？ 15:32



住吉道　住吉川左岸道　打越峠分岐　ここで　魚屋道は左へ
住吉道はそのまま谷沿いを下る　古道の雰囲気がそのまま残る石畳道　15:34



2018.6.14.　　五助ダム湖　湿地の一部
林の中の坂道を下ると小さな池の横に出て、向こうは明るい
後から考えるとこの池も五助ダムのダム湖の一部かもしれない



五助ダムのダム湖の一部？　奥に湿地を渡る木道が見えている



2017.6.14.　住吉谷　五助ダム湖　　広い湿地の中　小川が流れ、木道を渡ってゆく


2017.6.14. 住吉谷 五助ダム湖内の広い湿地 15:41



2017.6.14.　住吉谷　五助ダム湖



2017.6.14.　住吉谷　五助ダム　堰堤
ダム堰堤の向こうに先ほど歩いてきた湿地がみえて　はっと気が付く。
もう　五助ダムは土砂でほとんど埋まっているのだと



2017.6.14.　住吉谷　五助ダム堰堤



2017.6.14.　住吉谷　五助ダム堰堤

ダムの正面　とうとうと水が流れ落ち、両側を山で挟まれた湿地全体が五助ダム湖であるとわかった。
もう数十年前訪れた記憶とは比べようもない変貌　ただただ　すごいなぁ･･･と



Google earth 写真でみた五助ダム　　湖はもう土砂でいっぱいだ

2017.6.14.　住吉谷　五助ダムサイト　15:47







2017.6.14.　住吉川の治水・治山の案内板
住吉谷　五助ダムサイトで　　15:47

六甲山地で起こった災害

六甲山地は、東は武庫川右岸山麓から六甲山・摩耶山・再度山などの山並みを連ね、西は鉢伏山までの、東西に約３０km、南北に約１０kmの山地で、大部分を風化した花崗岩で覆われています。

風化した花崗岩は、大雨・長雨により崩れやすく、これまで数多くの土砂災害を起こしました。

昭和１３年７月５日に発生した阪神大水害では、下流域の街を巨大な土石流が襲い多くの人命や家屋を失いました。



阪急鉄橋より下流を望む



住吉川に流れて来た巨岩



国道住吉橋付近を望む



住吉小学校第二校舎北側

住吉川流域図



五助堰堤

阪神大水害をきっかけに六甲山地の砂防事業を国が直轄実施することになりました。この間住吉川流域では、６４基の砂防堰堤が完成しています。（平成２３年３月現在）

五助堰堤は、堰堤高３０．０m・堰堤長７８．０mで昭和２７年８月１日に着手し、昭和３２年３月３１日に六甲山地の１１９番目の堰堤として完成しました。



【工事中】川底より工事材料をとげるための足場の状況



【工事中】現地の石を使って天端の工事状況



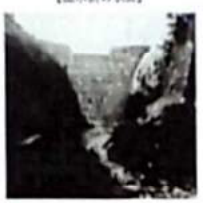
【完成】



【現在の五助堰堤】

昭和４２年７月９日の集中豪雨では、五助谷で発生した約１２万㎥の土石流を五助堰堤が受け止め下流への被害を防ぎました。

【出水前の状況】



土砂は全くたまっていない状況

【出水後の状況】



一夜にして１２万㎥の



水が引いた状況

国土交通省　六甲砂防事務所

住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535

六甲の川物語 ～みんなで調べ、伝えよう！住吉川物語～

六甲山地の自然や歴史・文化にまつわる街の不思議や素晴らしさを楽しく学べる学習教材「六甲の川物語」

ホームページ：http://www.rokko.kkr.mlit.go.jp/

（六甲の川物語「冊子」「サブノート」「教室マップ」が



2017.6.14.　　五助ダムサイトから眺める住吉谷
まだまだ狭い谷筋が下流へ続いている　やっぱり　すごい谷だ



2018.6.14.　住吉道　五助ダム周辺　　石切道、住吉道、打越山への３分岐
15:51



2018.6.14.　住吉川沿いを下って　阪急御影駅へ　　15:56

ここはまだ六甲の山の中腹　標高200mから300m　まだまた長い坂道が駅まで続く



2018.6.14.　住吉台への遊歩道　　ここはまだ六甲の山の中腹　標高200mから300m
東神戸では　六甲の山腹この辺りまで住宅地が広がっている
ここからは住吉台の団地から白鶴美術館前へ遊歩道・住宅地を抜けてよく







2018.6.14. 住吉台の住宅地を抜け、やっと白鶴美術館前に。 14:21
もう バスに乗れるのですが、今日はきちり阪急御影まで 坂道を下る まだ30分はかかるだろう



2018.6.14.　六甲最高峰からの視界の開けぬ狭い谷筋　急な下りが続く住吉道
長い谷筋をやっとぬけて、ほっと一息　やっぱり長いなぁ　これだけは かつての記憶通り
　あとはぶらぶらと　白鶴美術館前の坂道を阪急御影駅へ下る　16:30

梅雨の晴れ間　急に思い立ってかつてよく通った東六甲へ　六甲山上へは何度も上がるのですが、ここ10数年歩いたことがない東六甲。　興味深々で歩きました。

毎年この時期訪れる六甲高山植物園　ことしも多くの花に出会えて満足。
そして、久しぶりに歩いた六甲山上walk・六甲最高峰　そしてそこから下った住吉川沿いの住吉道。興味深々　六甲からの大展望を楽しみながらのうれしい緑の森のハイキング。
こんなによく整備され、静かでゆっくり　緑の中を歩けるのか‥‥とびっくり。

須磨の西六甲からは見られない東六甲。
六甲最高峰からは　眺めたかった阪神間の市街地から大阪湾までの大展望。
そして故郷尼崎の街もくっきりと。
住吉川の古道　住吉道　楽しみにしていた五助ダム周辺・そして住吉道
かつては荒れ果ててはげ山だった山中が本当に心地よい緑のハイキング道に。
でも最初　御影から住吉道のぼろうか・・・と思いましたが、
あの長い六甲山頂までの谷筋道。ちょっと恐れをなして下ることに。正解でした。
やっぱり住吉道のアプローチの長さは記憶通りやっぱり長い。
でも　もうわかったのでどこかで挑戦。

次は　もう一つ気にかかっていた東六甲の道　東おたふく山・奥池ハイクをやろう
東六甲の様子もだいぶわかったので　楽しめそう

見どころ満載の一日を思い浮かべながら　ぶらぶら
住吉川沿いの道　阪急御影駅までの急坂を下りました。

2018.6.14.夕　心地よい疲れの中て　Mutsu Nakanishi

2018.6.14. 白鶴美術館前の坂道を阪急御影駅へ下る　16:30



緑に埋まった住吉谷中心部　　2018.6.14.　　14:52

雨ケ峠分岐周辺からは　今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、
後ろに六甲稜線の山並みが見えている

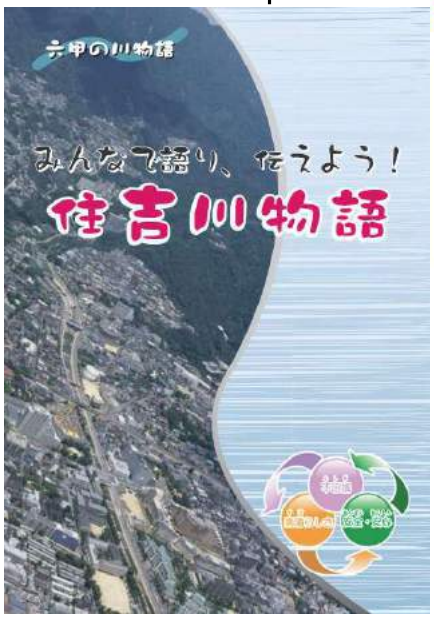


2017.6.14.　住吉谷　五助ダム堰堤

もう数十年前訪れた記憶とは比べようもない変貌　ただただ　すごいなぁ‥‥と

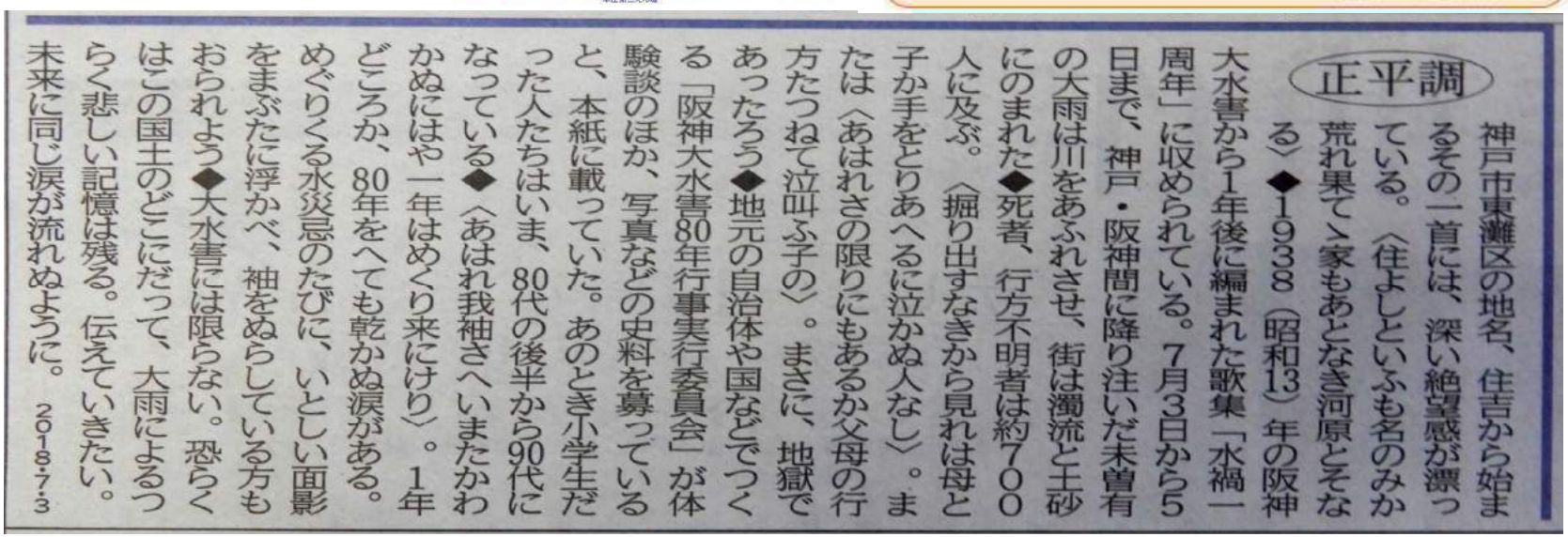
【参考】六甲の川物語「住吉川物語」　国土交通省　六甲砂防事務所

https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/study/sumiyoshi/sum-b.pdf









正平調

神戸市東灘区の地名、住吉から始まるその一首には、深い絶望感が漂っている。〈住よしといふも名のみか荒れ果てゝ家もあとなき河原とそなる〉◆1938（昭和13）年の阪神大水害から1年後に編まれた歌集「水禍一周年」に収められている。7月3日から5日まで、神戸・阪神間に降り注いだ未曽有の大雨は川をあふれさせ、街は濁流と土砂にのまれた◆死者、行方不明者は約700人に及ぶ。〈掘り出すなきから見れは母と子か手をとりあへるに泣かぬ人なし〉。または〈あはれさの限りにもあるか父母の行方たつねて泣叫ふ子の〉。まさに、地獄であったろう◆地元の自治体や国などでつくる「阪神大水害80年行事実行委員会」が体験談のほか、写真などの史料を募っていると、本紙に載っていた。あのとき小学生だった人たちはいま、80代の後半から90代になっている◆〈あはれ我袖さへいまたかわかぬにはや一年はめくり来にけり〉。1年どころか、80年をへても乾かぬ涙がある。めぐりくる水災忌のたびに、いとしい面影をまぶたに浮かべ、袖をぬらしている方もおられよう◆大水害には限らない。恐らくはこの国土のどこにだって、大雨によるつらく悲しい記憶は残る。伝えていきたい。未来に同じ涙が流れぬように。

2018・7・3

神戸新聞コラム「正平調」　2018.7.3 より

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る



裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越 有馬道
六甲最高峰より古道「住吉道」から住吉谷を下る

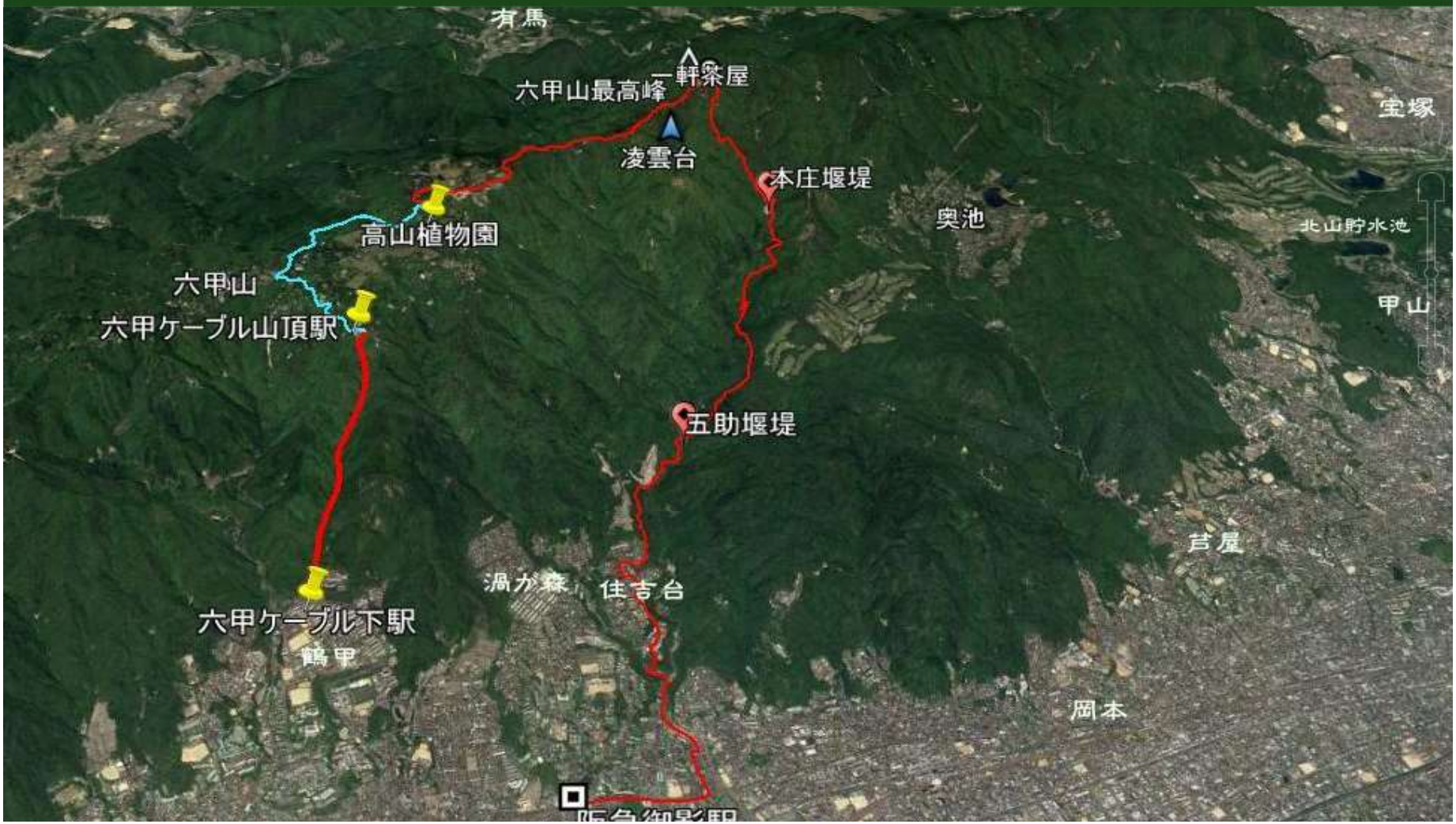
《 終わり 》



山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める　　2018.6.14.

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く　六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて　六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る




西宮浜から眺める六甲連山　全景　internetより　　自分のphotoに置換え予定
六甲山上
凌雲台
六甲山最高峰
峰甲山
再度山
六甲ケーブル下駅
東おたふく山
有馬
奥池
風吹岩
三宮
阪急御影駅
芦屋
甲山
宝塚
イランド
西宮
仁川
武庫川
甲子園球場
鳴尾浜球場
阪神電車武庫川駅

私の一番好きな六甲　武庫川から眺める東六甲の姿
小さな時から、私の慣れ親しんだ景色でもある



R171号線　武庫川 甲武橋から眺める六甲連山　google earthより


梅雨の晴れ間　入道雲がもくもくと　　梅雨明け近し
無理せず　元気に
2018.7.2.　by Mutsu Nakanishi
2018.7.2.　須磨アルプス　東山から眺める神戸の街